Paloma

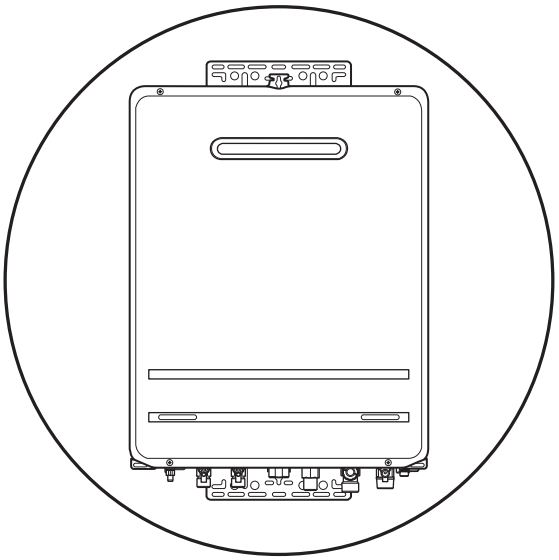
潜熱回収型　ガスふろ給湯器

■フルオートタイプ

FH-E166FAシリーズ
FH-E206FAシリーズ
FH-E246FAシリーズ

■オートタイプ

FH-E165Aシリーズ
FH-E205Aシリーズ
FH-E245Aシリーズ
FH-E166Aシリーズ
FH-E206Aシリーズ
FH-E246Aシリーズ



ecoジョーズ

取扱説明書

BL認定部品　保証書付

このたびはガスふろ給湯器をお買い上げいただきまして、ありがとうございます。

●正しく安全にお使いいただくために、ご使用前にこの「取扱説明書」を必ず最初から順番にお読みいただき、よく理解してくださるようお願いいたします。
●この「取扱説明書」をいつでもすぐに取り出せるところに大切に保管しておいてください。
また、この「取扱説明書」の裏表紙が「保証書」になっています。保証期間、保証内容などを確認のうえ、大切に保管しておいてください。
●この機器は国内専用です。海外では使用できません。
●取扱説明書を紛失された場合はパロマまでお問い合わせください。

この取扱説明書は、
MC-126D/MC-126V/MC-126/FC-126D/FC-126V/FC-126で説明しています。
記載のないリモコンをご使用の場合は、リモコンに付属の取扱説明書もあわせてご覧ください。

お使いになる前に…

ご使用前にリモコン
品名や給湯器の器具名を
確認しましょう！

→リモコン品名：13・15ページ
器具名　　：18ページ

時刻合せ ◆時計を合わせたい P19

運転 入/切 ◆お湯を出したい P20

▼ ▲ ◆給湯温度を調節したい P21

優先 ◆優先スイッチって何？ P22

ふろ自動 ◆お湯はりをしたい P23

設定確認 ◆ふろ温度を調節したい P25

設定確認 ◆ふろ湯量を調節したい P26

設定確認 ◆保温時間を変更したい P27

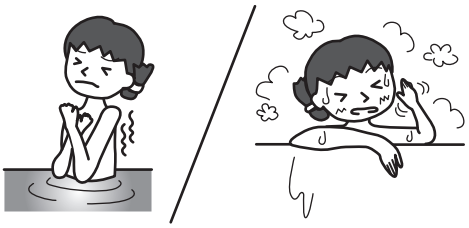
快適バスタイム

保温時間を調節して
入浴時間のズレにも
対応します

おいだき ◆おふろをあつくしたい P28

さし水 ◆おふろをぬるくしたい P29

たし湯 ◆おふろにお湯をたしたい P30



お湯がぬるい、熱い、足りないときも
スイッチ一つで対応します

おいだき ◆残り湯を沸かし直したい P31

残り湯の量によって方法が異なります
ので注意してください。

ふろ予約 ◆予約運転でお湯はりしたい P33

設定確認 ◆予約時刻を設定したい P35

帰宅時間に合わせてお湯はりが可能です

長期不在のときは…

長期旅行や引っ越し時
には、機器の水抜きを
必ず行いましょう！
（特に寒い地域でご使用の場合）

→49ページ

◆使い勝手に合わせて設定しましょう

◆省電力モード P41

運転が「入」の状態で約10分間リモコンの
操作をしないとリモコンの表示画面が消える
設定になっています。

◆チャイルドロック P42

小さなお子さまのいたずらによる事故を防止
するため、ロック機能がついています。

呼出

◆おふろと台所の間で呼び出し音が鳴らせます

（MC-126/FC-126/MC-126V/FC-126Vのみ）

P36

通話

◆おふろと台所で通話できます

（MC-126D/FC-126Dのみ）

P37

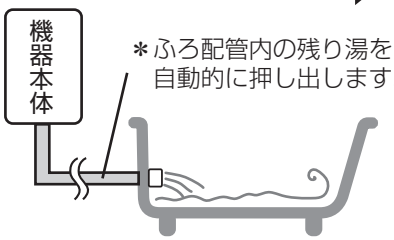
設定確認

◆音の大きさを変えたい

P38～P40

◆配管洗浄

P43



もくじ

ご使用前に

長期使用製品のあんしん点検に関するお願い 3
安全上のご注意（必ずお守りください） 5
各部のなまえとはたらき 13
機器のタイプを確認する 18
初めてお使いになるときには 18
現在時刻を設定するには 19

お湯を使う

お湯を出すには 20
給湯温度を調節するには 21
優先スイッチの使いかた 22

お湯はりをする

ふろ自動運転でおふろを入れるには 23
ふろ温度を調節するには 25
ふろ湯量を調節するには 26
保温時間を変更するには 27

快適に入浴する

おふろをあつくするには 28
おふろをぬるくするには 29
おふろにお湯をたすには 30

残り湯を利用する

残り湯を沸かし直すには 31

お湯はりを予約する

予約運転でおふろを入れるには 33
予約時刻を設定するには 35

便利な機能

呼び出すには 36
おふろと台所で通話するには 37

音量の調節

通話の音量を調節するには 37
音声ガイドの音量を調節するには 38
操作確認音・お知らせ音の音量を調節するには 39

各種設定・その他の機能

省電力モードについて 41
チャイルドロックを設定するには 42
配管洗浄について 43
機器移設・浴槽買い替え時の再設定 45

上手に使って長持ちさせるために/仕様

点検とお手入れ 46
凍結を防ぐには 48
故障かな？と思ったら 51
仕様 56
保管とアフターサービス 61
保証書 裏表紙

長期使用製品のあんしん点検に関するお願い

あんしん点検（有償）について

製品の経年劣化による重大事故を防止するために、製品ごとに設定された点検期間中に点検を受けることを製品の所有者の方におすすめしています。この機器に表示してある点検期間になりましたら、忘れずに点検を受けてください。なお、点検後も機器を使用する場合は、こまめに（1～2年）点検を受けることがこの機器を安全にお使いいただくために必要となりますので、ご注意ください。

●この機器の設計上の標準使用期間10年の前後1年間が点検期間となります。製造年月は本体前面に貼付けの銘板でお確かめいただき、点検期間には忘れずに点検（有償）をご依頼ください。（点検時期には、下記要領でお客さまにご登録いただいた所有者情報に基づき、当社より、はがきなどで点検の通知を送付いたします。）

※図は表示の一例です。

所有者登録について

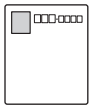
製品の所有者の方に対して、あんしん点検をおすすめします。所有者登録をしていただきますと点検の通知をさせていただきます。
下記「所有者登録の方法」をご覧になり、いずれかの方法で、登録を行ってください。
また、引っ越しなどで所有者登録の内容に変更がありましたら、速やかに登録内容の変更を行ってください。変更登録を行わないと点検の通知が届きません。

＊ご登録いただいた所有者情報は、消安法、個人情報保護法および当社規定により適切な安全対策のもとに管理し、点検、リコールなどの製品安全に関するお知らせをする場合以外には使用いたしません。

所有者登録の方法 …以下のいずれかの方法で登録を行ってください。
※聞き間違いなどによる誤登録を防ぐため、電話での所有者登録は行っておりません。

■所有者票（返信はがき）で登録する

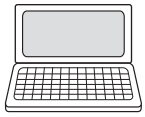
添付の所有者票に必要事項をご記入のうえ、投函してください。



■インターネットで登録する

下記アドレスにアクセスし、画面の案内に従って登録を行ってください。

http://www.paloma.co.jp/touroku/



■モバイル（携帯電話）で登録する

添付の所有者票のQRコードを読み取り、携帯サイトの画面に従って登録を行ってください。
＊ご使用中の携帯電話がQRコードに未対応の方やURLがうまく受信できない方は、所有者票（返信はがき）またはインターネットで登録を行ってください。

点検の通知について

●所有者登録をいただいた方に、点検の通知をいたします。
●点検に関するお問い合わせは、「点検の連絡先について」をご覧ください。

本製品の設計上の標準使用期間について

この機器は、設計上の標準使用期間※を10年と算定しており、適切な点検を行わずにこの期間を超えて使用すると、経年劣化による一酸化炭素中毒など思わぬ事故や故障・火災に至るおそれがあります。

※設計上の標準使用期間とは、標準的な使用条件（下記の【設計上の標準使用期間の算定の根拠について】参照）の下で、適切な取扱いで使用し、適切な維持管理が行われた場合に、安全上支障なく使用することができる標準的な期間として設計上設定される期間で、製品ごとに設定されるものです。**無償保証期間とは異なるものです**ので、ご注意ください。

設計上の標準使用期間の算定の根拠について

この機器の設計上の標準使用期間は、製造年月を始期とし、JIS S 2071・JIS S 2072 の「標準使用条件」に従って以下の標準使用条件で耐久試験を行い、経年劣化により安全上支障が生ずるおそれが著しく少ないことを確認した時期を終期として設定しています。

・標準使用条件（給湯）

家族構成	4人世帯
用途	洗面・台所・湯はり・シャワー
季節	中間期（春・秋）
気温/湿度	20℃／65%
電源電圧/周波数	100V（50Hz/60Hz）
給水温度	15℃
出湯温度	40℃
1日使用量	456L
1日使用時間	1時間
1年使用日数	365日

・標準使用条件（ふろ）

家族構成	4人世帯
用途	沸かし上げ・おいだき
季節	中間期（春・秋）
気温/湿度	20℃／65%
電源電圧/周波数	100V（50Hz/60Hz）
給水温度	15℃
沸き上げ温度	40℃
入浴回数/日	1回
沸かし上げ/日	1回（15℃から40℃）
保温（おいだき）/日	2回（38℃から40℃）
浴槽の標準水量	180L
1年使用日数	365日

●この機器を上記の標準的な使用条件を超える使用頻度や異なる使用環境などで使用した場合は、設計上の標準使用期間よりも早期に安全上支障を生じるおそれが多くなることが予想されますので、機器に表示している点検期間よりも早く点検を受けてください。
点検のご依頼は、下記の『株式会社パロマ お客さまセンター』へお願いします。
●この機器は一般家庭用です。業務用など、多頻度・長時間のご使用は、設計上の標準使用期間より早く経年劣化を起こし、重大事故となるおそれがありますので、このようなご使用はおやめください。

点検の連絡先について

点検に関するお問い合わせは、下記の連絡先へお願いします。

■株式会社パロマ　お客さまセンター
電話番号：0120-378-860
受付時間：平日9：00～17：00（土・日・祝日・弊社指定休日を除く）

●点検費用はお客さまにご負担いただくこととなります。点検費用については上記の電話番号へご確認ください。
また、点検の結果、整備・修理が必要となった場合は、別途費用が発生します。
●点検は全国の営業所で対応いたします。
パロマホームページ【http://www.paloma.co.jp】のアドレスからもご確認いただけます。

部品の保有期間について

この機器の部品の保有期間は下記になります。

	保有期間	内容
整備部品	11年	点検の結果、必要となると見込まれる部品です。 （イグナイタ電極、フレームロッド電極、過熱防止器組立、入水・出湯サーミスタ、パッキン、Oリング）
補修用性能部品	10年	機器の機能を維持するために必要となる部品です。

安全上のご注意（必ずお守りください）

安全に正しくお使いいただくために

製品を正しくお使いいただくためや、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためにこの取扱説明書および製品への表示では、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■絵表示について次のような意味があります。

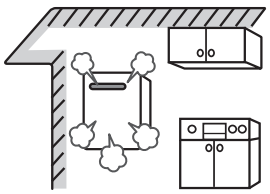
禁止　火気禁止　分解禁止　ぬれ手禁止	この絵表示はしてはいけない「禁止」の内容です。
発火注意　高温注意	この絵表示は気をつけていただきたい「注意喚起」の内容です。
必ず行う　プラグを抜く　アースする	この絵表示は必ず行っていただきたい「強制」の内容です。

⚠危険	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

禁止

この機器は屋外式のため絶対に屋内に設置しない

→不完全燃焼を起こし、一酸化炭素中毒の原因になります。



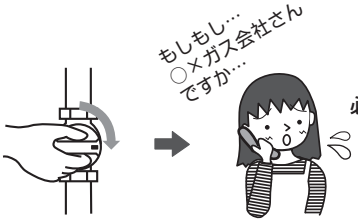
禁止

必ず行う

ガス漏れに気づいたときは…

■すぐに使用を中止する

①すぐに使用をやめ、ガス栓を閉める。また、メーターのガス栓も閉める。
②お買い上げの販売店かお近くのガス事業者（供給業者）に連絡する。

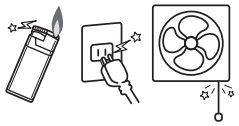


必ず行う

火気禁止

■ガス事業者（供給業者）の処置が終わるまでの間、絶対に火をつけない
■電気器具（換気扇その他）のスイッチの入/切をしない
■電源プラグの抜き差しをしない
■周辺で電話を使用しない

→炎や火花で引火し、爆発事故を起こすことがあります。



火気禁止

⚠警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。

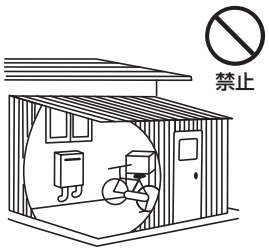
禁止

■設置後、機器や排気口（排気筒トップ）を波板やビニール、塗装時に使用した養生シートなどで囲わない

→不完全燃焼による一酸化炭素中毒や火災のおそれがあります。

■外壁の塗装や増改築、家屋の修繕時など養生シートで機器本体（排気口・排気筒トップ）を覆う場合は機器を使用しない

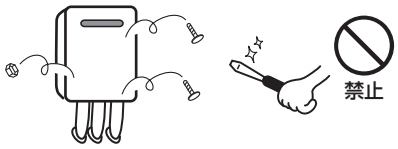
→不完全燃焼や一酸化炭素中毒の原因となります。



禁止

■絶対に改造・分解は行わない

→改造・分解は一酸化炭素中毒など思わぬ事故や故障、火災の原因になります。



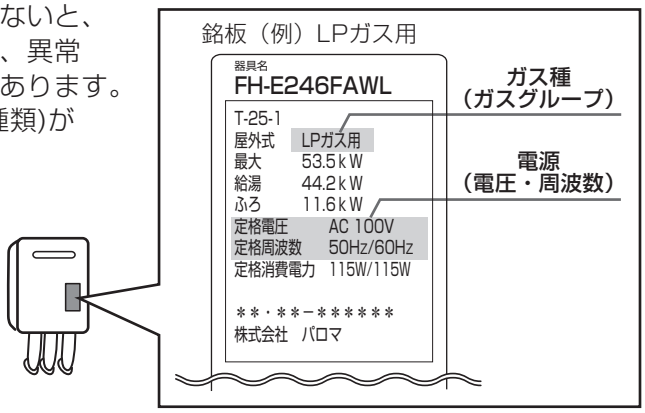
必ず行う

■供給ガスと機器の銘板に表示してあるガス種(ガスグループ)および電源(電圧･周波数)の適合を確認する

必ず行う

→供給ガスと表示のガス種および電源が一致しないと、不完全燃焼による一酸化炭素中毒になったり、異常点火でやけどしたり、機器が故障する場合があります。特に転居した場合は必ずガスの種類(電源の種類)が一致しているかどうか確認してください。

＊供給ガスがわからない場合、または銘板に表示してあるガス種と一致しない場合はお買い上げの販売店かお近くのガス事業者(供給業者)に連絡する



■電源はＡＣ１００Ｖを使用する

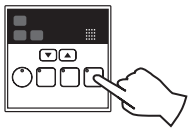
必ず行う

■異常時の処置

①点火しない場合または使用中に異常な燃焼、臭気、異常音、異常な温度を感じた場合、機器が使用途中で消火してしまった場合はただちに使用を中止しガス栓を閉める
②「故障かな?と思ったら」51～55ページに従い処置する
③上記の処置をしても直らない場合は使用を中止しお買い上げの販売店かパロマに連絡する
＊地震、火災などの緊急の場合はただちに使用を中止しガス栓および給水元栓を閉める

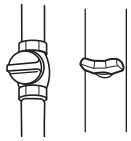
給湯栓を全て閉める

運転スイッチを切る



電源プラグを抜く

ガス栓・給水元栓を閉める



＊再びお使いになる前に、必ずお買い上げの販売店かパロマまで点検依頼してください。

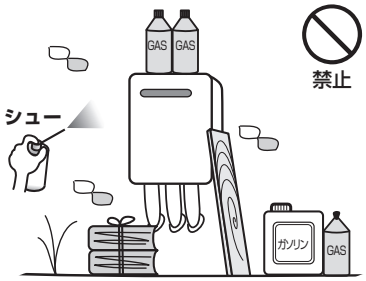
安全上のご注意（必ずお守りください）

⚠警告　この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。

禁止

■機器および排気口・排気筒トップの周囲には紙や木材など燃えやすいものを置かない

→火災の原因になります。



禁止

■機器や排気筒トップの周囲や上にスプレー缶、カセットこんろ用ボンベなどを置かない

→熱でスプレー缶内の圧力が上がり、スプレー缶が爆発するおそれがあります。

■機器や排気筒トップの周囲ではスプレー、ガソリン、ベンジンなど引火のおそれのあるものを置いたり使用したりしない

→引火して火災のおそれがあります。

■機器本体に無理な力を加えない。機器本体やガスの接続口などに乗らない

→けがや機器の変形によるガス漏れや不完全燃焼、故障のおそれがあります。

必ず行う

■機器の設置（付帯工事）

→機器の設置・移動および付帯工事はお買い上げの販売店に依頼し、安全な位置に正しく設置してご使用ください。

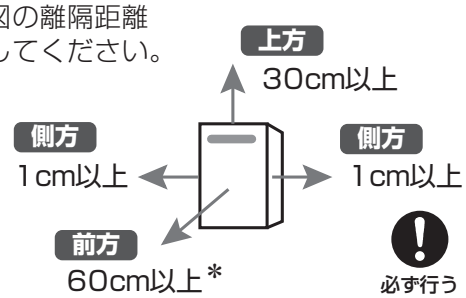
■ガス接続

→この機器のガス接続工事は専門の資格・技術が必要です。お買い上げの販売店に依頼してください。

必ず行う

■離隔距離を確保する

→機器周辺の物とは常に右図の離隔距離を確保してください。



＊印はアフターサービス上の寸法です。

必ず行う

禁止

■この機器を太陽熱温水器（ソーラーシステム）に接続しない

→熱いお湯が出てやけどをすることがあります。

■浴槽のふたの上に乗ったり手をついたりしない

→ふたが外れておぼれたり、やけどなど思わぬ事故のおそれがあります。

お子さまには…

■お子さまだけで入浴させたり、お湯を使わせたりしない

■浴槽で水に潜ったりしない

■浴室または、機器の周囲や直下で遊ばせない

→思わぬ事故につながることがあります。

＊特に小さな子供のいる家庭では注意が必要です。

やけど防止のため

禁止

■使用中や使用直後は、排気口・排気筒トップとその周辺は高温になっているので、手を触れない

→やけどのおそれがあります。

■出始めのお湯は体にかけない

→下記の場合、一瞬熱いお湯が出ることがあります。
・お湯を止めた後に再使用するとき
・お湯の量を急に少なくしたとき
・トイレの水を流すなど大量の水を使用して給水圧が下がったとき
・万一機器が故障したとき
また、給湯使用時は給湯栓が熱くなるのでやけどに注意してください。

■シャワー、給湯使用中は使用者以外はお湯の温度を変更しない

→突然熱いお湯が出てやけどをしたり、冷水が出て思わぬ事故につながることがあります。

必ず行う

■手のひらで湯温を十分に確認する

●シャワーなどお湯を使う場合、最初に熱いお湯が出ることがあります。
手のひらで湯温が安定したことを確かめてからご使用ください。
●入浴時には必ず手でおふろの湯温を確認してから入浴してください。
●おいだき中やおいだき後は十分にかきまぜてから手で湯温を確認してください。

■湯量を少なくするときはゆっくり、絞りすぎないようにする

→急に湯量を少なくしたり、絞りすぎると熱いお湯が出ることがあります。
また、消火することもあります。

■熱いお湯を使用後は湯温をやけどしない程度の温度に戻す。熱いお湯を使用直後にぬるい温度に下げた場合、しばらく流してから使用する

→配管内の熱いお湯が出てしまうまですぐにぬるいお湯にはなりませんのでやけどのおそれがあります。

高温注意

■湯温を低めに設定した場合の注意

→水温が高い場合やお湯の量を絞って使う場合は、設定温度よりも熱いお湯が出ることがあります。やけど防止のため、このような場合は湯量を多めにし、湯温を確認してからお使いください。

■おふろを沸かしているとき（沸かし直ししているとき）やおいだきしているときは、バスアダプター付近が熱くなるので注意する。また、自動運転中は定期的においだきするので注意する

→熱いお湯が出るためやけどのおそれがあります。

安全上のご注意（必ずお守りください）

⚠警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。

禁止

■電源プラグの差し込みが不完全な状態で使用しない
■傷んだ電源プラグや電源コード、緩んだコンセントは使わない

→感電や火災の原因になります。

■電源コードを引っ張って電源プラグを抜かない

→電源コードを引っ張ると破損して感電や火災の原因になります。

■電源コードの取り扱い注意

●電源コード・電源プラグは…
・傷つけたり、破損させたり、加工したりしないでください。

●電源コードは…
・束ねたり、無理に曲げたり、引っ張ったりしないでください。
・物をのせたり、衝撃を与えたり、無理な力を加えないでください。
・切断して延長しないでください。電源コードがコンセントに届く範囲にしてください。

→感電、漏電、またはショートや発火による火災のおそれがあります。

ぬれ手禁止

■ぬれた手で電源プラグを触らない。
雨が降り出している場合は、電源プラグを抜かない

→感電のおそれがあります。

必ず行う

■電源プラグはほこりを定期的にふき取る

→電源プラグにほこりがたまると湿気などで絶縁不良となり火災の原因になります。
電源プラグを抜き、乾いた布などでふいてください。

アースする

■アースがされていることを確認する

→この機器はアースが必要です。アースが不完全な場合、機器の故障や漏電による感電のおそれがあります。ご不明な場合はお買い上げの販売店にご確認ください。

⚠注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

禁止

■給湯・シャワー・おいだき以外の用途には使用しない

→思わぬ事故の原因となることがあります。

■排気口・排気筒トップに指や棒などを入れない

→けがや故障の原因となります。

■ドレン排出口から排出される水を飲料用、調理用、飼育用などには使用しない

おねがい

■家庭用製品

この製品は家庭用ですので業務用のような使用をすると機器の寿命が著しく短くなります。
＊この場合の修理は保証期間内でも有料になります。

■補修用性能部品および補助具について

補修用性能部品および補助具は当社の純正部品以外は使わないでください。当社の純正部品以外のものを使用した場合の機器の故障、事故については、当社では責任を負いかねます。

■点火・消火の確認

使用時の点火、使用後の消火を確認してください。
＊リモコンの点火確認ランプで確認してください。（詳しくは20，24ページをご覧ください。）

■ガス事故防止

使用後はリモコンを「切」にしてください。長期間使用しない場合は、ガス栓も必ず閉めてください。

■温泉水や井戸水･地下水を使わない

水質によっては機器の破損および水漏れの原因となります。上水道を使用してください。
＊温泉水や井戸水・地下水をお使いになって生じた故障についての修理・補修費用は保証期間内でも有料になります。

■飲用、調理用にお使いのときは

機器や配管内に長時間たまっていた水や、朝一番のお湯は飲用や調理には用いないで雑用水としてお使いください。飲用される場合は下記の点に注意してください。

・必ず水道法に定められた飲料水の水質基準に適合した水道水を使用してください。
・固形物や変色、濁り、異臭があった場合には、飲用せず、ただちにお買い上げの販売店またはパロマまで点検を依頼してください。

■薬用入浴剤や洗剤のご使用について

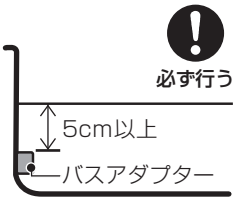
・硫黄、酸、アルカリを含んだ薬用入浴剤や洗剤は熱交換器が腐食する原因になりますので使用しないでください。
・入浴剤や洗剤は注意文を十分にお読みになってからお使いください。
・泡の出る入浴剤は使用しないでください。使用した場合、循環不良となりふろ自動運転やおいだきができない場合があります。

■入浴時の注意

浴槽のバスアダプターをタオルなどでふさがないでください。故障の原因となります。

■浴槽の湯量に関する注意

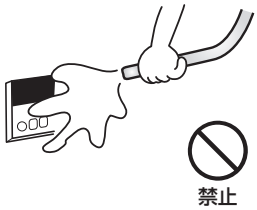
おいだきするときは、浴槽の湯量がバスアダプターの上端より５ｃｍ以上あることを確認してください。



安全上のご注意（必ずお守りください）

おねがい

■リモコンの注意



・リモコンは子供がいたずらしないように注意してください。
・ふろリモコンは防水タイプですが故意に水をかけないでください。
給湯リモコンは防水タイプではありません。炊飯器、電気ポットなどの蒸気にもあたらないように注意してください。
また、給湯リモコンの周りの壁にかけてたれた洗剤や水はリモコンにかからないようにふき取ってください。故障の原因になります。
・リモコンは分解したり、乱暴に扱わないでください。

■リモコンの設置場所について

・サウナなど室温が55℃を超える場所に取り付けないでください。故障の原因になります。
（5～55℃の範囲内で使用してください。）
・給湯リモコンとふろリモコンの設置が近い場合、通話中にハウリング（キーンなどの大きな音がする現象）を起こすことがあります。このような場合には、リモコンの設置場所や向きの変更が必要となりますので、お買い上げの販売店かパロマまでご連絡ください。（MC-126D、FC-126Dのみ）

■リモコンのスピーカーに耳を近づけて使用しない

大きな音が出ることがあります。聴覚障害を引き起こすおそれがあります。

■雷発生時の注意

雷が発生し始めたら速やかに運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜いてください。（またはブレーカーを落としてください。）
雷による一時的な過電流で電子部品を損傷することがあります。
雷がやんだ後は、電源プラグがぬれていないことを確認してコンセントに差込み、時刻の再設定を行ってください。

■停電のときは

・停電すると使用できません。
・使用中に停電すると運転を停止しますので、給湯栓を閉めておいてください。
停電時に給湯栓を開けたままにしておくと、お湯が水に変わり、水が流れたままになります。
（電力の供給が復帰したときは現在時刻が遅れています。また音量の設定など一部の設定が変わっていることがあります。表示を確認し、必要に応じて操作してください。）
・冬期など気温の低いときに停電した場合は「水抜きによる方法」で凍結による破損防止の処置を行ってください。（49ページ）
※停電時はリモコンの操作は出来ませんが、それ以外の操作を行ってください。

■断水のときは

・断水すると使用できません。（おいだきもできません。）
・使用中に断水すると運転を停止しますので、給湯栓を閉めておいてください。
断水時に給湯栓や給水栓を開けたままにしておくと、給水が復帰したときにお湯や水が流れたままになります。（通水後はあらためて操作してください。）
・断水から復帰した後、使い始めのお湯は飲用や調理用に用いないでください。断水したときは飲用や調理用に適さない水が配管内にとどまることがあります。蛇口から十分水を流してから使用してください。

断水後は配管内に空気が入っているため、すぐに運転すると空だきのおそれがあります。
運転スイッチを「切」にした状態で給湯栓を開け、十分水を流してから使用してください。

■電源について

凍結予防運転のために電気を使用していますから、緊急のとき以外は電源プラグを抜かないでください。

■本体の上に金属製の物を置かない

本体がさび、穴あきなどの原因になります。

■水をお使いのときは

リモコンを「切」にして給湯栓側で水を使用したりシャワーを浴びたりすることは、故障の原因になりますのでおやめください。機器内通水部分の結露により、機器の寿命が短くなります。
水をお使いのときは必ず給水栓側（シングルレバー式混合水栓の場合は完全にレバーを水側にしてから）を開いてください。

■排気口の周囲

排気口からの排気ガスによって加熱されて困るもの（危険物、植物、ペットなど）を排気口・排気筒トップの周囲に置かないでください。
増改築などによって、排気ガスが直接建物の外壁や窓・ガラス・網戸・アルミサッシなどに当たらないようにしてください。変色・破損・腐食の原因になります。

■積雪時は給気口・排気口・排気筒トップの点検、除雪を行う

積雪や、屋根から落ちた雪により給気口・排気口・排気筒トップがふさがれないように注意してください。故障の原因になります。

■増改築時の注意

塀などを増設する場合は、空気の流れが停滞しないように考慮してください。機器の周囲の空気の流れが停滞すると、燃焼不良の原因になります。
また、機器の点検・修理のための空間を確保してください。塀などと機器との間に十分な空間がないと、点検・修理に支障をきたすおそれがあります。（機器の点検・修理のための空間についてのお問い合わせは、お買い上げの販売店またはパロマまでご連絡ください。）

■設置状態の確認

下記の項目に当てはまる場所に設置されているか確認してください。

- ●水平な場所（確実に設置のできる場所）
- ●冷房装置や暖房装置の吹き出し口・吸い込み口がない場所
  →正常な燃焼の妨げになることがあります。
- ●落下物の危険がない場所
- ●周囲に可燃物や引火性のものがない場所
- ●給気口・排気口に強い風が吹き込まない場所
- ●足場などを組まなくてもメンテナンスできる場所（高所以外の場所）
- ●近所の家が騒音（燃焼音・燃焼用送風機音・ポンプ回転音）で迷惑にならない場所
- ●階段・避難口から離れた場所
- ●排気口から吹き出される排気ガスが建物の外壁や窓にあたらない場所
- ●排気ガスが建物内に入り込むような開口部（窓や換気扇など）がそばにない場所

各部のなまえとはたらき（ふろリモコン）

◎下記以外のリモコンをご使用の場合は、リモコンに付属の取扱説明書をあわせてご覧ください。
◎リモコン表面に保護シートが貼ってある場合は、はがしてご使用ください。

リモコンの品名表示

初めにリモコンの品名を確認してください。
＊リモコンによって仕様が一部異なります。

【ボイス＆インターホンリモコン】
FC-126D
：通話機能・音声ガイド付き

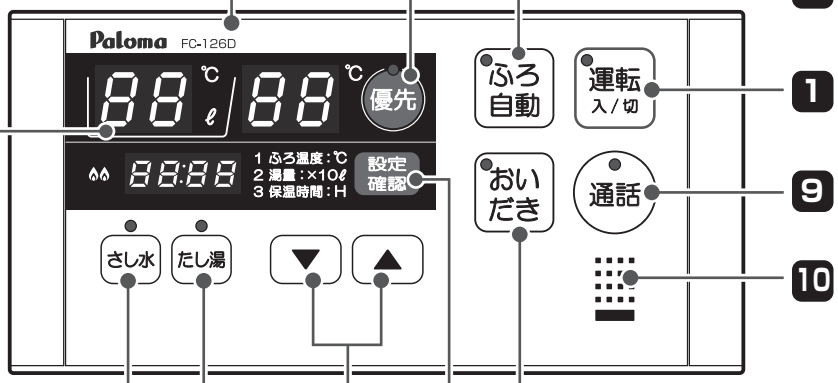
【ボイスリモコン】
FC-126V
：呼び出し機能・音声ガイド付き

【スタンダードリモコン】
FC-126
：呼び出し機能付き

●取扱説明書中では音声は
で示しています。
●取扱説明書中ではメロディは
で示しています。
●取扱説明書中ではブザーは
＼ピー／ で示しています。

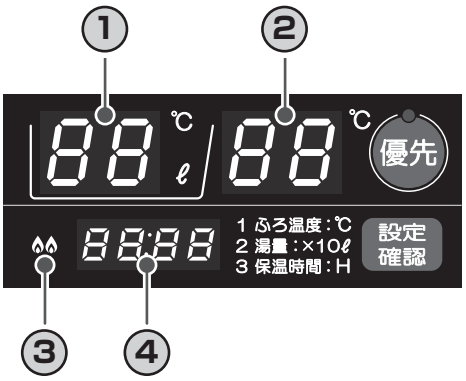
7 優先スイッチ

おふろでお湯を使うときは必ず優先ランプの点灯を確認してください。点灯していないときは、優先スイッチを押して優先にしてください。



＊イラストはFC-126Dを示しています。

11 表示画面



8 設定/確認スイッチ

・ふろ湯量の調節
・ふろ温度の調節
・保温時間の調節
・音量の調節
・配管洗浄の有/無の変更

をしたいときは、設定/確認スイッチを押して変更します。

1 運転スイッチ

運転の入/切を行います。
＊運転スイッチの「入」・「切」はすべてのリモコンで連動します。

2 ふろ自動スイッチ →P23

ふろ自動運転をするときに使用します。

3 おいだきスイッチ →P28・31

もう少し熱いおふろにおいだきしたり、ふろ温度まで沸かし直すときに使用します。

4 さし水スイッチ →P29

おふろをぬるくするときに使用します。

5 たし湯スイッチ →P30

おふろにたし湯するときに使用します。

6 選択スイッチ

給湯温度やふろ温度、湯量、音量など各種設定値を変更するときに使用します。

7 優先スイッチ →P22

リモコンの優先権を切り替えるときに使用します。優先ランプが点灯しているときは、給湯温度を変更することができます。

8 設定/確認スイッチ

ふろ温度や湯量、保温時間、音量など各種設定項目の変更および確認をするときに使用します。

9 通話スイッチ →P37

通話するときに使用します。

＊FC-126/FC-126Vは呼び出しスイッチになります。

呼び出しスイッチ →P36

誰かを呼び出すときに使用します。

10 スピーカー ＊FC-126V/FC-126Dのみ

11 表示画面

① ふろ温度表示

ふろ温度を表示します。
＊ふろ湯量・保温時間・たし湯量などの設定を変更するときには設定内容が表示されます。

② 給湯温度表示

給湯温度を表示します。

③ 点火確認ランプ

機器が燃焼しているときに点灯します。

④ 時刻表示

現在時刻を表示します。
＊予約時刻の設定を変更するときには予約時刻が表示されます。
＊設定/確認スイッチを押したときは、設定項目番号※が表示されます。
＊不具合が発生した場合には、エラーコードが表示されます。

※設定項目番号について

ふろ温度や湯量、保温時間などは設定/確認スイッチを押し、設定項目番号を表示して設定します。
設定項目番号は１～6まであります。運転の「入」「切」の状態で設定できる項目が異なります。

状態	設定項目番号	内容	参照ページ
運転「入」時のみ	1	ふろ温度の調節	25
	2	ふろ湯量の調節	26
運転「入」「切」に関係なし	3	保温時間の変更	27
運転「切」時のみ	4	音声ガイド音の調節（FC-126では設定できません。）	38
	5	操作確認音・お知らせ音の調節	39
	6	配管洗浄の設定	43

各部のなまえとはたらき（給湯リモコン）

◎下記以外のリモコンをご使用の場合は、リモコンに付属の取扱説明書をあわせてご覧ください。
◎リモコン表面に保護シートが貼ってある場合は、はがしてご使用ください。

リモコンの品名表示

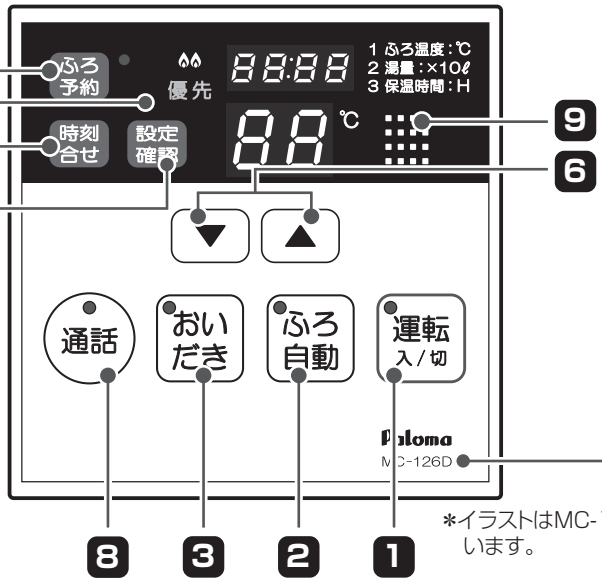
初めにリモコンの品名を確認してください。
＊リモコンによって仕様が一部異なります。

【ボイス＆インターホンリモコン】
MC-126D
：通話機能・音声ガイド付き

【ボイスリモコン】
MC-126V
：呼び出し機能・音声ガイド付き

【スタンダードリモコン】
MC-126
：呼び出し機能付き

●取扱説明書中では音声は
で示しています。
●取扱説明書中ではメロディは
で示しています。
●取扱説明書中ではブザーは
＼ピー／ で示しています。

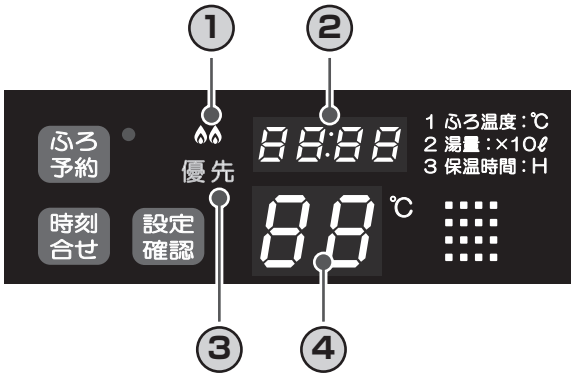


＊イラストはMC-126Dを示しています。

7 設定/確認スイッチ

・ふろ湯量の調節
・ふろ温度の調節
・保温時間の調節
・音量の調節
・配管洗浄の有/無の変更
をしたいときは、設定/確認スイッチを押して変更します。

10 表示画面



1 運転スイッチ

運転の入/切を行います。
＊運転スイッチの「入」・「切」はすべてのリモコンで連動します。

2 ふろ自動スイッチ →P23

ふろ自動運転をするときに使用します。

3 おいだきスイッチ →P28・31

もう少し熱いおふろにおいだきしたり、ふろ温度まで沸かし直すときに使用します。

4 ふろ予約スイッチ →P33

ふろ自動運転の予約をするときに使用します。

5 時刻合せスイッチ →P19

時刻を設定するときに使用します。

6 選択スイッチ

給湯温度やふろ温度、湯量、音量など各種設定値を変更するときに使用します。

7 設定/確認スイッチ

ふろ温度や湯量、保温時間、音量など各種設定項目の変更および確認をするときに使用します。

8 通話スイッチ →P37

通話するときに使用します。

＊MC-126/MC-126Vは呼び出しスイッチになります。

呼び出しスイッチ →P36

誰かを呼び出すときに使用します。

9 スピーカー ＊MC-126V/MC-126Dのみ

10 表示画面

① 点火確認ランプ

機器が燃焼しているときに点灯します。

② 時刻表示

現在時刻を表示します。

＊予約時刻の設定を変更するときには予約時刻が表示されます。
＊設定/確認スイッチを押したときは、設定項目番号※が表示されます。
＊不具合が発生した場合には、エラーコードが表示されます。

③ 優先ランプ

この表示が点灯しているときは、給湯温度を変更することができます。

④ 給湯温度表示

給湯温度を表示します。

＊ふろ温度・ふろ湯量・保温時間などの設定を変更するときには設定内容が表示されます。

※設定項目番号について

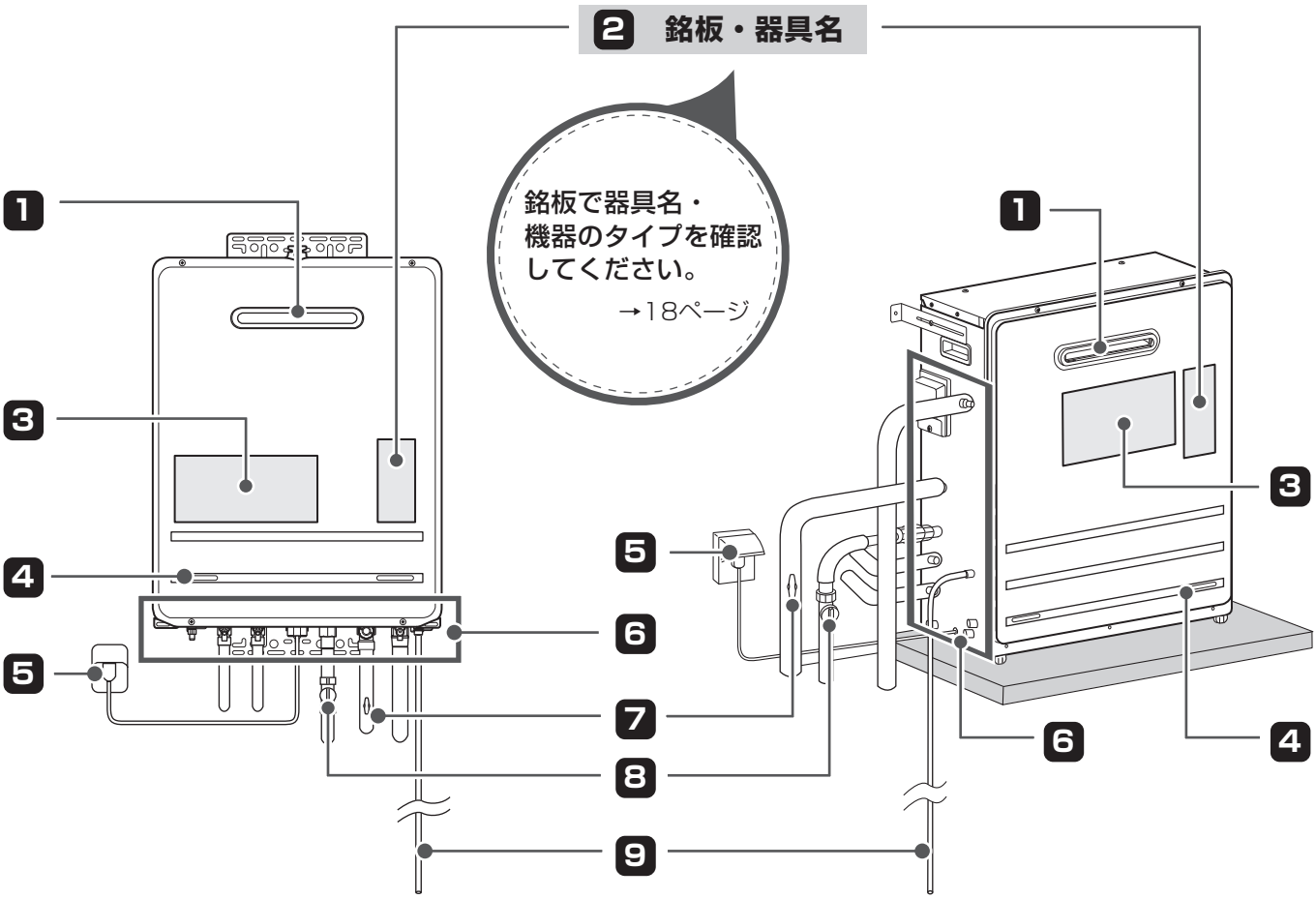
ふろ温度や湯量、保温時間などは設定/確認スイッチを押し、設定項目番号を表示して設定します。
設定項目番号は１～6まであります。運転の「入」「切」の状態で設定できる項目が異なります。

状態	設定項目番号	内容	参照ページ
運転「入」時のみ	1	ふろ温度の調節	25
	2	ふろ湯量の調節	26
運転「入」「切」に関係なし	3	保温時間の変更	27
運転「切」時のみ	4	音声ガイド音の調節（MC-126では設定できません。）	38
	5	操作確認音・お知らせ音の調節	39
	6	配管洗浄の設定	43

各部のなまえとはたらき（機器本体）

■壁掛型
（フルオートタイプ， オートタイプ）

■据置型
（フルオートタイプ， オートタイプ）



1 排気口

排気ガスが出ます。

2 銘板・器具名

型式名・使用ガスの種類・製造年月・製造事業者・設計上の標準使用期間・問合せ連絡先などを表示しています。

3 本体表示

使用上の注意について表示しています。

4 給気口

燃焼用の空気の取り入れ口です。
機器の側面や下面にもあります。

5 電源プラグ

6 水抜き栓

凍結予防のため機器の水を抜くときに外します。
（49ページ参照）

7 給水元栓

水道水の開閉を行います。

8 ガス栓

ガスの開閉を行います。

9 ドレン配管

※この先から結露水が出ます。

ドレン配管から水が排出されますが、水漏れではありません。

機器のタイプを確認する

銘板で器具名を確認し、機器のタイプを確認してください

機器の正面に貼ってある銘板で確認します。

<器具名 例>

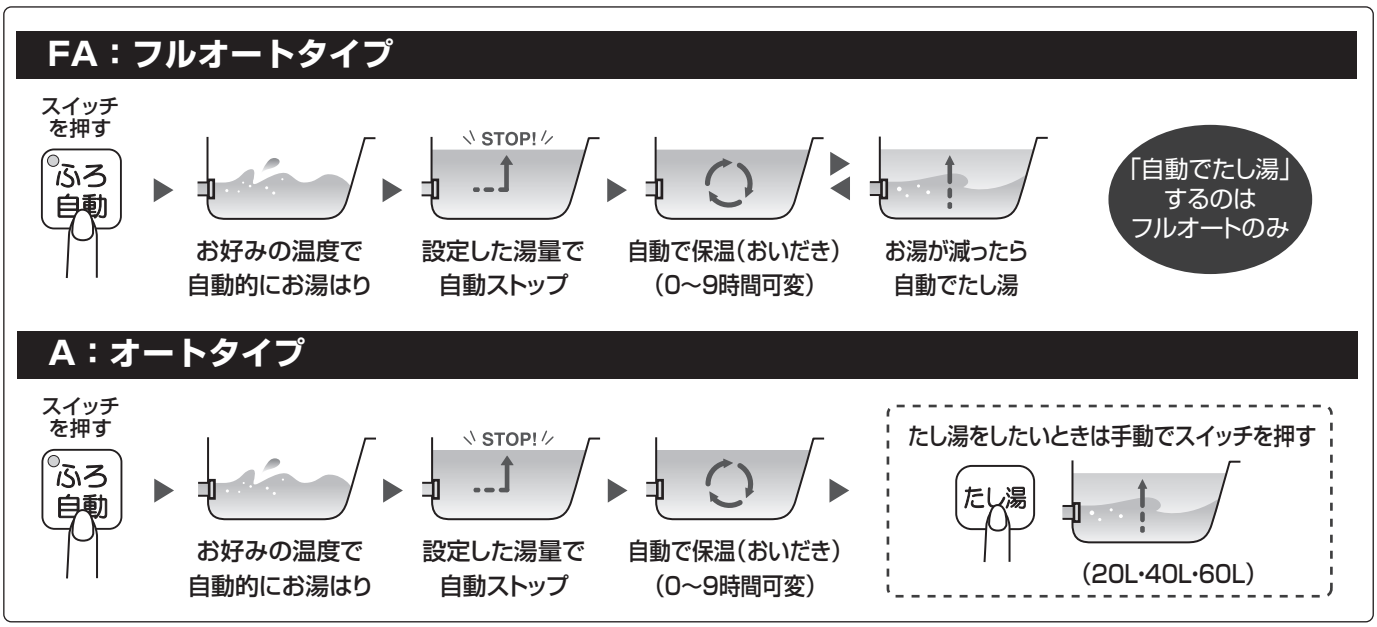
FH-E246FAWL

3桁の数字の直後　FA：フルオートタイプ
A　：オートタイプ

銘板（例）
LPガス用

器具名
FH-E246FAWL
T-25-1
屋外式　LPガス用
最大　53.5kW
給湯　44.2kW
ふろ　11.6kW
定格電圧　AC 100V
定格周波数　50Hz/60Hz
定格消費電力　115W/115W
＊＊・＊＊－＊＊＊＊＊＊
株式会社　パロマ

フルオートタイプとオートタイプでは、ふろ自動運転の動きが異なります。



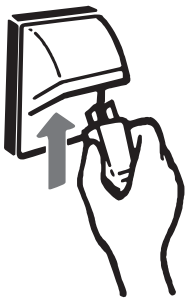
初めてお使いになるときには

給水元栓を全開にする

必ず全開で
使用してください。

ガス栓を全開にする

必ず全開で
使用してください。



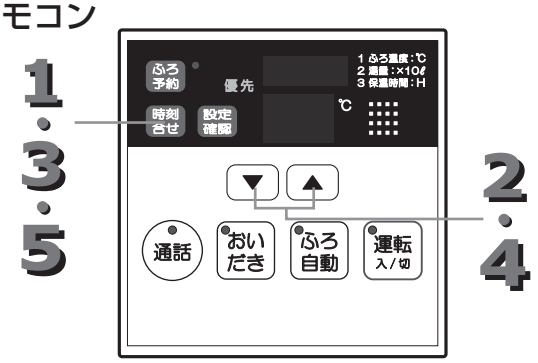
電源プラグをコンセントに差し込む

＊電源（AC100V）を入れた直後（20～30秒間）は安全のための初期動作確認を行っていますので運転しません。しばらく待ってから操作してください。

現在時刻を設定するには

◆給湯リモコンで設定します。

■給湯リモコン



●現在時刻設定は給湯リモコンで行い、ふろリモコンにも表示されます。ふろリモコンのみお求めの場合は現在時刻の表示はできません。
●現在時刻を設定しないと予約運転ができません。
●停電したり、電源プラグが抜けた後は、再度設定を行ってください。（停電や電源プラグが抜けていた間の時刻が遅れます。）

◎運転スイッチの「入」「切」に関係なく設定することができます。ここでは運転「切」時でご説明します。

1 時刻合せスイッチを長押しする（2秒以上）

●ピッと音がなるまで２秒以上長押ししてください。現在時刻表示の「時」が点滅します。

現在時刻表示の「時」が点滅表示

2 選択スイッチを押し、「時」を設定する

●押し続けると連続して変わります。
●「時」は24時間表示です。

3 時刻合せスイッチを押す

●「時」の設定が完了し、「分」の設定に切り替わります。

「分」が点滅表示

4 選択スイッチを押し、「分」を設定する

●押し続けると連続して変わります。

5 時刻合せスイッチを押す

●時刻設定が完了します。

現在時刻が消灯

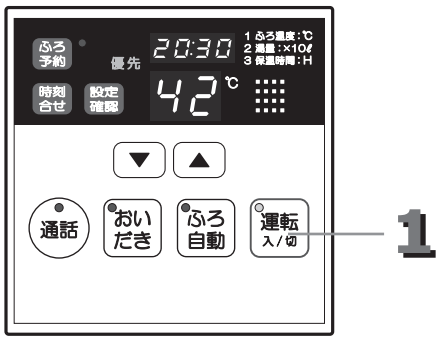
※時刻合せスイッチを押さずに、そのまま約3分経過するとそのときの設定内容で自動的に設定が完了します。

時刻表示はリモコンの運転が「切」の場合は消灯しますが、お好みにより常時点灯に切り替えることができます。（41ページ）

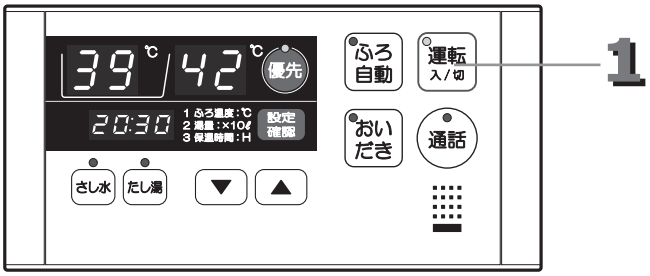
お湯を出すには

◆給湯リモコン・ふろリモコンどちらでも操作できます。
ここでは給湯リモコンでご説明します。

■給湯リモコン



■ふろリモコン



1 運転スイッチを押し、運転ランプの点灯を確認する

前回設定の温度

2 給湯栓を開ける

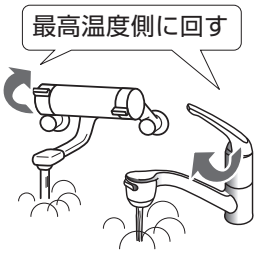
点火確認ランプ点灯

3 給湯栓を閉める

点火確認ランプ消灯

【サーモスタット付きやシングルレバーの混合水栓の場合】

混合水栓側の温度設定をもっとも高温にしておいてください。



●中間の位置で使用すると、水が混ざるため、ぬるくなる場合があります。
●リモコンの運転スイッチが「切」の状態で水を使用する場合、混合水栓は必ず「水」の位置で使用してください。「湯」の位置で水を流すと機器内が結露して点火不良や故障の原因になります。

⚠警告

高温注意

■給湯栓を閉めたあとは、混合水栓側の温度設定を低温に戻す

→やけどのおそれがあります。

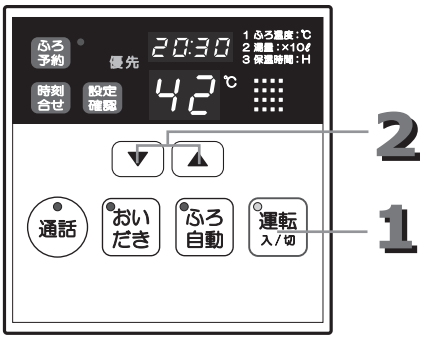
知っておいてね

●2箇所以上で同時にお湯を使用したり、断続的に使用すると湯量、温度が不安定になることがあります。
●お湯はり中に台所やシャワーなどでお湯を使用すると、ふろ設定温度のお湯が出ます。また、水の温度や給湯配管の抵抗、給水圧などの条件によっては、台所やシャワーからお湯が少ししか出ない場合やまったく出ない場合があります。(機器の異常ではありません。)
●リモコンの設定温度を低くしている場合や、夏期など水温の高い場合、リモコンの設定温度よりも高い温度のお湯が出ることがあります。

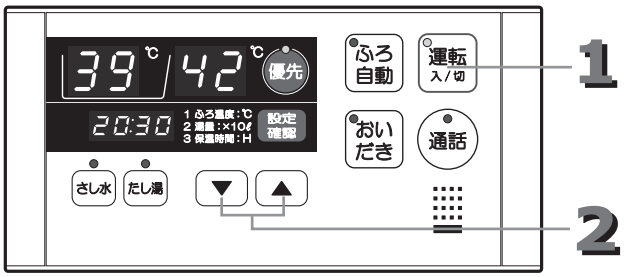
給湯温度を調節するには

◆給湯リモコン・ふろリモコンどちらでも操作できます。
ここでは給湯リモコンでご説明します。

■給湯リモコン



■ふろリモコン

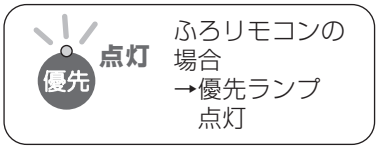


1 運転スイッチを押し、運転を「入」にする

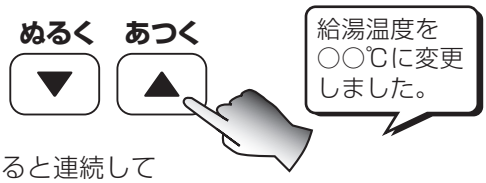
または、
優先ランプの点灯を確認する

●運転ランプが点灯していない場合は、運転スイッチを押し、運転を「入」にしてください。
●運転「入」時でも優先ランプが点灯していないと給湯温度を変更することができません。（22ページ参照）

優先ランプ点灯



2 選択スイッチを押し、給湯温度を変更する



●32℃～45℃の間は押し続けると連続して変わります。それ以降は46、47、48、50、60℃と変わります。
＊60℃設定にした場合、注意を促すため、音声や音で熱いお湯が出ることをお知らせします。
●設定を記憶します。

変更後の給湯温度

■ 給湯温度の目安

★表示の温度と実際の温度は設置条件（季節・配管の長さなど）により必ずしも一致しません。
表示の温度は目安としてください。

60℃に設定すると音声や音でお知らせ

【MC-126/FC-126】 ＼ピピピッ／

【MC-126V/FC-126V MC-126D/FC-126D】 あついお湯が出ます。

32	35	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	50	60
ぬるい			ややぬるめ			ふつう	初期設定		ややあつめ				あつい		

⚠警告

必ず行う

■おふろでお湯を使うときは、必ずふろリモコンの優先スイッチを押して優先にする
→優先にしないと給湯リモコンで温度を変更できるためやけどのおそれがあります。
＊ふろリモコンの優先ランプが点灯していることを必ず確認してください。
＊優先スイッチの使いかたを参照してください。（22ページ）

優先スイッチの使いかた

台所・洗面所・シャワーなど、機器からお湯を供給しているところは同じ温度のお湯が出ます。
（給湯リモコンとふろリモコンは常に同じ給湯温度を表示します。）
そのため、お湯を使用中に他の人が給湯温度を変更すると、お湯の温度が変わり、やけどをすることがあります。このような事故を防止するために、どちらか一方の（優先権のある）リモコンでしか給湯温度を変更できないようになっています。

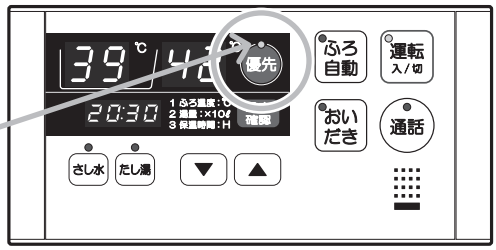
■給湯リモコン
MC-126
MC-126V
MC-126D

＊イラストはMC-126Dを示します。

■ふろリモコン
FC-126
FC-126V
FC-126D

優先スイッチ

優先ランプ



＊イラストはFC-126Dを示します。

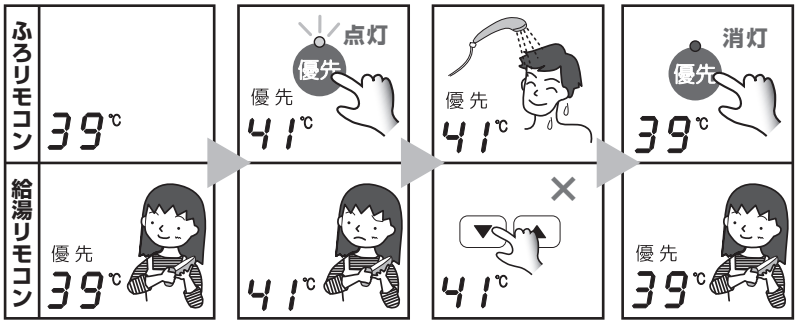
ふろリモコンの優先スイッチを押す

●ふろリモコンの優先スイッチを1回押すごとに「ふろリモコン」と「給湯リモコン」の間で優先権が交互に切り替わります。（優先権を持つリモコンの優先ランプが点灯します。）

ふろリモコン ⇄ 給湯リモコン

●給湯リモコンを増設した場合は、増設したリモコンと給湯リモコンの間では優先権はなく、同じ動作をします。
●給湯リモコンで給湯温度を変更できない場合は、一度リモコンの運転を「切」にし、再度「入」にして優先ランプを点灯させてからご使用ください。
※おふろ（特にシャワー）を使用している場合は、絶対にリモコンの運転スイッチを「切」にしないでください。お湯が急に水になります。
●リモコンの運転を「切」の状態から「入」にした場合、運転スイッチを「入」にした側のリモコンが優先権を持ちます。

給湯リモコンとふろリモコンはそれぞれが優先権を持っていたときに設定した給湯温度を記憶しています。優先権が切り替わると優先権を持つリモコンが記憶していた給湯温度になります。
●優先権のないリモコンでは給湯温度を変更できません。
●給湯温度の変更以外は、優先権の有無に関係なく設定したり、変更することができます。



⚠警告

高温注意

■お湯を使用するときはやけどに注意する

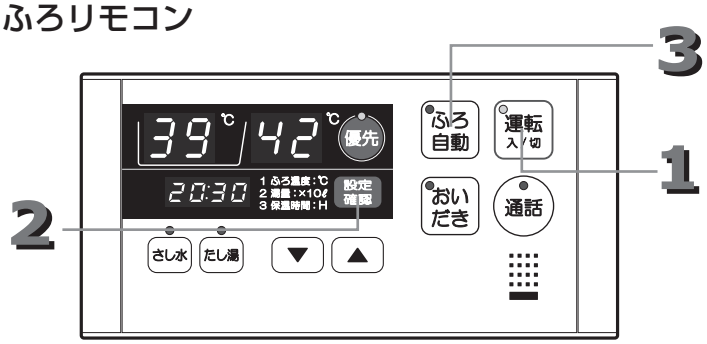
●高温設定にした場合、熱いお湯がでますので十分に注意してください。
●高温で使用した後、あらためて使用する場合、配管内に残った熱いお湯が出ることがあります。やけど予防のために出始めのお湯は体にかけないでください。
●やけど防止のため、おふろ（特にシャワー）を使用している場合は、絶対にふろリモコン以外で給湯温度の変更をしないでください。必ずふろリモコンの優先スイッチを押し、ふろリモコンを優先にしてください。
※ふろリモコンを優先中は給湯リモコンの運転を切ったり、入れたりしないでください。
給湯リモコンに優先権が切り替わり、熱いお湯が出ることがあります。
●給湯温度を変更する場合や、優先権を切り替える場合は、他の人がお湯を使用していないことを確認してください。

ふろ自動運転でおふろを入れるには

◆給湯リモコン・ふろリモコンどちらでも操作できます。
ここではふろリモコンでご説明します。

■給湯リモコン

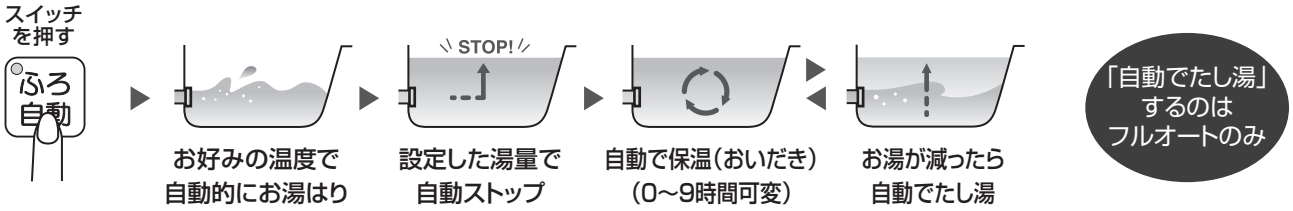
■ふろリモコン



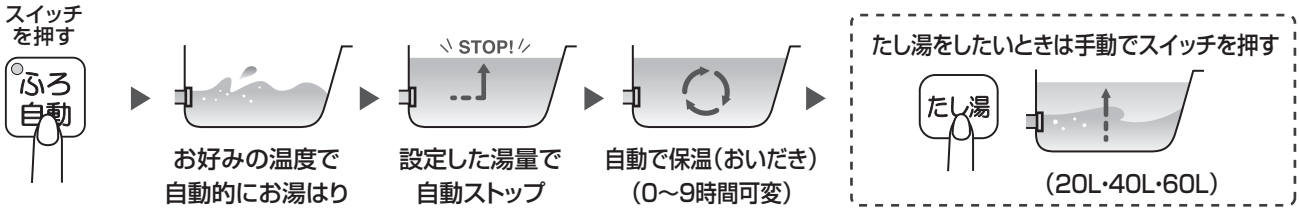
ふろ自動運転とは…ふろ自動スイッチを押すと次の動作を機器が自動で行います。

※機器のタイプ確認の方法は18ページ参照ください。

FA：フルオートタイプ

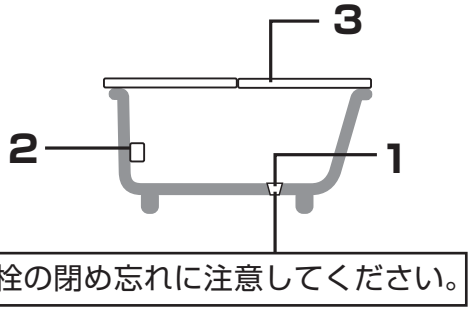


A：オートタイプ



運転前の準備

1. 浴槽の排水栓を閉める
2. 浴槽のバスアダプターにフィルターが正しくついていることを確かめる
3. 浴槽のふたをする



1 運転ランプの点灯を確認する

●運転ランプが点灯していない場合は、運転スイッチを押し、運転を「入」にしてください。

2 ふろ温度・ふろ湯量・保温時間を確認する

設定/確認スイッチを押す

●設定/確認スイッチを押すごとに、
「1、ふろ温度」→「2、ふろ湯量」→
「3、保温時間」→「最初の表示画面」
と切り替わります。

●ふろ温度の調節は25ページを参照してください。
●ふろ湯量の調節は26ページを参照してください。
●保温時間の変更は27ページを参照してください。

1 ふろ温度

ふろ温度点滅

2 ふろ湯量

ふろ湯量点滅

3 保温時間

保温時間点滅

3 ふろ自動スイッチを押す

●ふろ自動運転を開始します。

ふろ自動運転を途中で
やめたいときは、もう一度

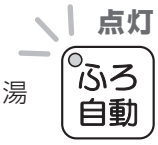
押す

ふろ温度に変更

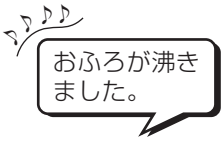
点火確認ランプ点灯

4 お湯はり終了後、自動的に保温/たし湯運転に入ります

※オートタイプの場合は、自動でたし湯する機能はありません。
●お湯はりが終了すると音声や音でお知らせします。



【MC-126V/FC-126V
MC-126D/FC-126D】



【MC-126/FC-126】
＼ピー×5回／

●**設定の保温時間が終了すると**自動停止し、ふろ自動スイッチのランプが消灯します。
（保温時間の初期設定は4時間です。）
●給湯リモコンのふろ自動スイッチのランプも消灯します。

給湯温度に戻る

保温時間終了後

知っておいてね

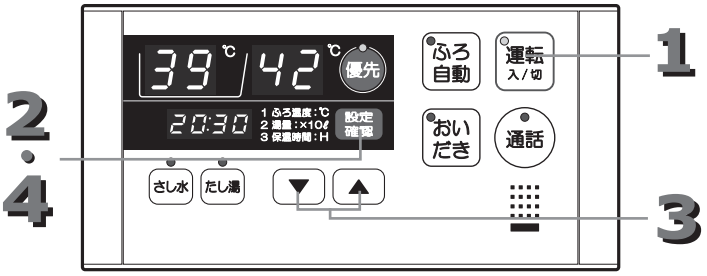
●お湯はり中に台所やシャワーなどでお湯を使用すると、ふろ設定温度のお湯が出ます。お湯はりが終了すると給湯設定温度のお湯が出るため注意してください。
●お湯はり中に台所やシャワーなどでお湯を使用すると、お湯はり時間が長くかかる場合があります。
●お湯はり中に時々お湯はりや燃焼を中断することがありますが、これは浴槽内の残り湯を検出したり、お湯はり途中の水位を検出するためで異常ではありません。
●お湯はり中に給湯栓から浴槽にお湯を入れたりするとお湯があふれることがあります。
●お湯はり中は、おいだき・たし湯・さし水は行えません。
●リモコンの設定温度を低くしているときや、夏期など水温が高い場合、はじめに設定水位まで水を注水し、おいだきをして設定温度にすることがあります。その場合、お湯はりに時間が長くかかります。

ふろ温度を調節するには

◆給湯リモコン・ふろリモコンどちらでも操作できます。
ここではふろリモコンでご説明します。

■給湯リモコン

■ふろリモコン



1 運転ランプの点灯を確認する

●運転ランプが点灯していない場合は、運転スイッチを押し、運転を「入」にしてください。

2 設定/確認スイッチを押す

設定項目番号「1」を選択する

●設定/確認スイッチを押すごとに、
「1、ふろ温度」→「2、ふろ湯量」→「3、保温時間」→
「最初の表示画面」と切り替わります。

現在のふろ温度点滅

設定項目番号

3 選択スイッチを押し、ふろ温度を設定する

●33℃～48℃の1℃きざみで調節できます。
33℃～45℃までは、押し続けると連続して変わります。

ふろ温度点滅

■ ふろ温度の目安

★表示の温度と実際の温度は設置条件（季節・配管長さなど）により必ずしも一致しません。表示の温度は目安としてください。

初期設定

33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48
			ややぬるめ				ふつう			ややあつめ					

4 設定/確認スイッチを押す

●設定を記憶します。
●設定/確認スイッチを押さずに、そのまま約30秒経過するとそのときの設定内容で自動的に設定が完了します。

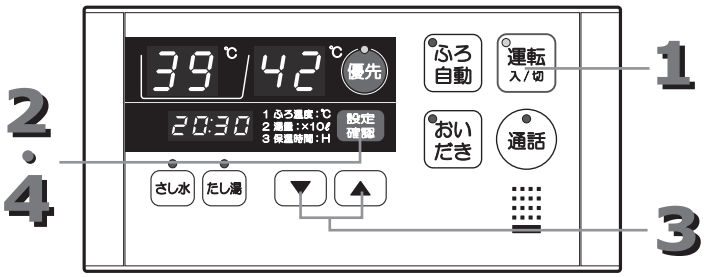
変更後のふろ温度表示

ふろ湯量を調節するには

◆給湯リモコン・ふろリモコンどちらでも操作できます。
ここではふろリモコンでご説明します。

■給湯リモコン

■ふろリモコン



1 運転ランプの点灯を確認する

●運転ランプが点灯していない場合は、運転スイッチを押し、運転を「入」にしてください。

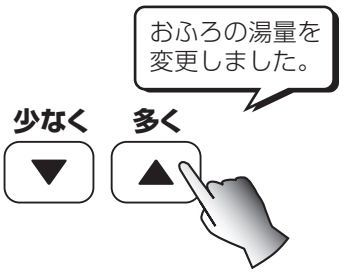
2 設定/確認スイッチを押す

設定項目番号「2」を選択する

●設定/確認スイッチを押すごとに、「1、ふろ温度」→「2、ふろ湯量」→「3、保温時間」→「最初の表示画面」と切り替わります。

3 選択スイッチを押し、ふろ湯量を設定する

●100L～300Lまでは20Lずつ、それ以降は350L、400L、450L、500Lまで調節できます。
押し続けると連続して変わります。
●初期設定は180Lです。



※ふろ湯量の単位は点滅している数字×10Lになります。

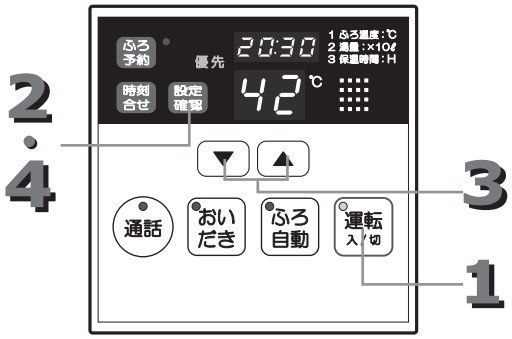
4 設定/確認スイッチを押す

●設定を記憶します。
●設定/確認スイッチを押さずに、そのまま約30秒経過するとそのときの設定内容で自動的に設定が完了します。

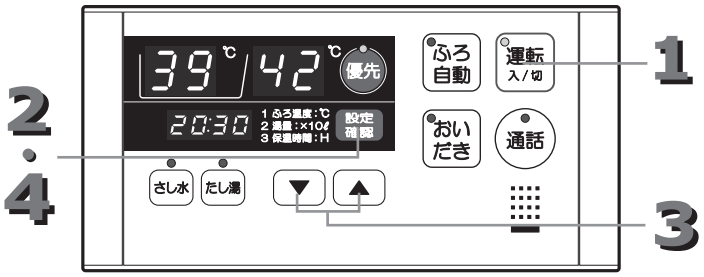
保温時間を変更するには

◆給湯リモコン・ふろリモコンどちらでも操作できます。
ここではふろリモコンでご説明します。

■給湯リモコン



■ふろリモコン



◎運転スイッチの「入」「切」に関係なく設定することができます。ここでは運転「入」時でご説明します。

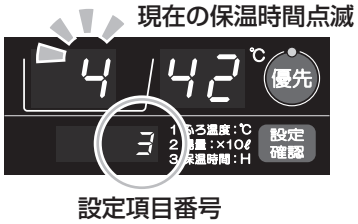
1 運転ランプの点灯を確認する

●運転ランプが点灯していない場合は、運転スイッチを押し、運転を「入」にしてください。

2 設定/確認スイッチを押す

設定項目番号「3」を選択する

●設定/確認スイッチを押すごとに、「1、ふろ温度」→「2、ふろ湯量」→「3、保温時間」→「最初の表示画面」と切り替わります。



3 選択スイッチを押し、保温時間を設定する

●0時間～9時間まで選択できます。
●初期設定は4時間です。

4 設定/確認スイッチを押す

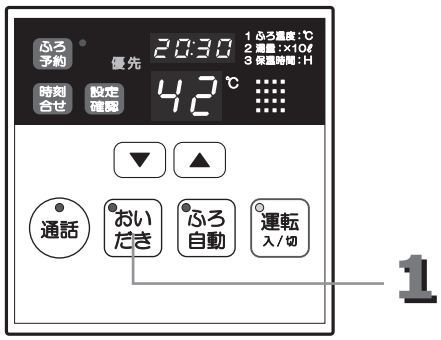
●設定を記憶します。
●設定/確認スイッチを押さずに、そのまま約30秒経過するとそのときの設定内容で自動的に設定が完了します。

おふろをあつくするには

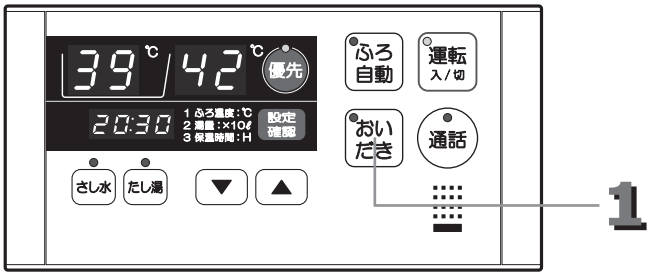
◆給湯リモコン・ふろリモコンどちらでも操作できます。
ここではふろリモコンでご説明します。

自動保温中、設定温度より一時的にもう少しあつくしたいと思ったときに、スイッチ１つでおいだきできます。（設定温度プラス1～3℃まで）

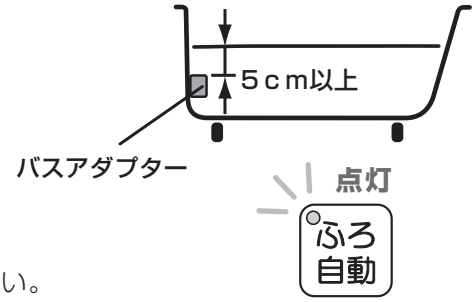
■給湯リモコン



■ふろリモコン



運転前の準備



浴槽のバスアダプターの上端より５ｃｍ以上お湯が入っていることを確認する

●5cm未満の場合、空だきのおそれがあります。

自動保温中であることを確認する

●ふろ自動スイッチのランプが点灯していることを確認してください。
保温中以外は沸かし直し（31ページ）を行います。

1 おいだきスイッチを押す

●おいだきスイッチを押すとおいだき温度（設定温度+1℃）が点滅し、**設定温度より1℃高い温度までおいだきします。**

●おいだき温度点滅中においだきスイッチを押すごとに、
「設定温度+2℃」→「設定温度+3℃」→「おいだき 切」と調節できます。
※ふろ温度の最高温度（48℃）より高い温度にはおいだきできません。

●おいだきが終了すると自動的に止まります。
●おいだき終了後、もとの設定温度に戻ります。

給湯リモコンで操作した場合のみ音声や音でお知らせします。
（ふろリモコンで操作した場合はお知らせしません。）

【MC-126V/FC-126V
MC-126D/FC-126D】

♪♪♪♪
おふろが沸きました。

【MC-126/FC-126】

＼ピー×5回／

おいだき温度点滅

点火確認ランプ点灯

おいだき終了後

設定温度に戻る

おいだき温度確定後（おいだき温度点灯中）に、おいだきをやめたいとき

もう一度押す

知っておいてね

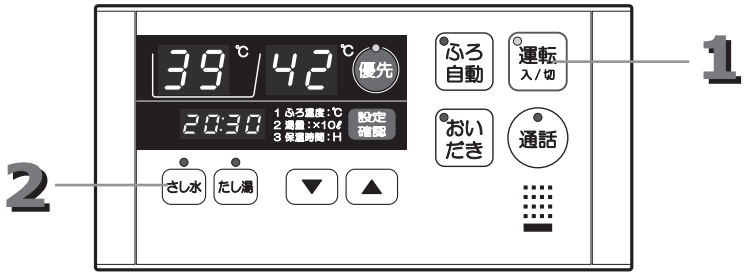
●給湯リモコンのおいだきスイッチを押した場合は、すぐにはおいだきを開始しません。機器からポンプが動く音は聞こえますが異常ではありません。しばらくするとおいだきを開始します。
●給湯栓から浴槽にお湯をためてからおいだきした場合、おいだきを開始するまでに時間がかかりますが、異常ではありません。

おふろをぬるくするには

◆ふろリモコンで行います。

入浴時お湯の温度をもう少しぬるくしたいと思ったときに適量の水を給水して湯温を下げる機能です。

■ふろリモコン

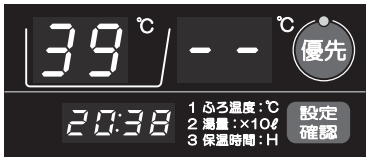


1 運転ランプの点灯を確認する

●運転ランプが点灯していない場合は、運転スイッチを押し、運転を「入」にしてください。

2 さし水スイッチを押す

●ふろ温度より約1℃下がる程度の水（10L）が入ります。



さし水を途中でやめたいときもう一度

知っておいてね

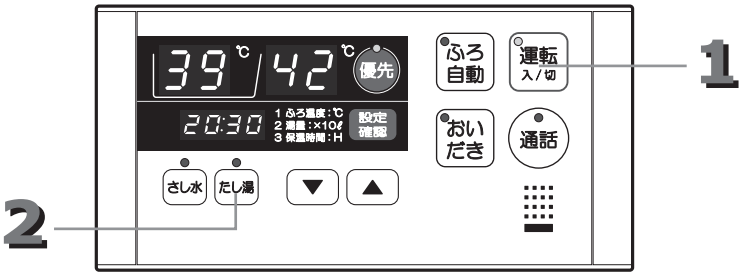
●さし水スイッチを押すと、ふろ配管内の残り湯を押し出し、配管内に新しい水が流れ込むため、配管洗浄と同様の効果があります。(43ページ)
●さし水中に台所やシャワーなどでお湯を使用すると水が出ます。

おふろにお湯をたすには

◆ふろリモコンで行います。

お湯の量を増やしたいと思ったときに適量のお湯をたす機能です。

■ふろリモコン



1 運転ランプの点灯を確認する

●運転ランプが点灯していない場合は、運転スイッチを押し、運転を「入」にしてください。

2 たし湯スイッチを押す

●たし湯スイッチを押すとたし湯量が点滅し、**ふろ設定温度のお湯を20Lたし湯します。**

●たし湯量が点滅中にたし湯スイッチを押すごとに「20L」→「40L」→「60L」→「たし湯 切」とたし湯量を調節できます。

●たし湯が完了すると自動的に止まります。
※たし湯を行っても設定湯量は変わりません。

たし湯量点滅　ふろ温度表示

たし湯中

たし湯終了後　給湯温度表示

たし湯量確定後（たし湯量点灯中）にたし湯をやめたいとき

もう一度押す

知っておいてね

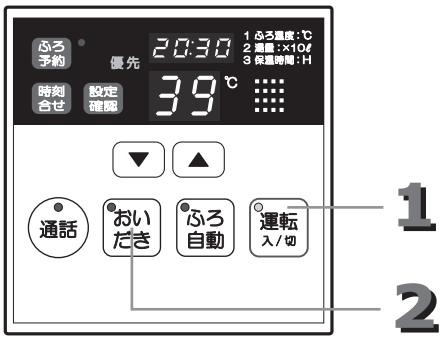
●たし湯スイッチを押すと、ふろ配管内の残り湯を押し出し、配管内に新しいお湯が流れ込むため、配管洗浄と同様の効果があります。（43ページ）
●たし湯中に台所やシャワーなどでお湯を使用すると、ふろ設定温度のお湯が出ます。

残り湯を沸かし直すには

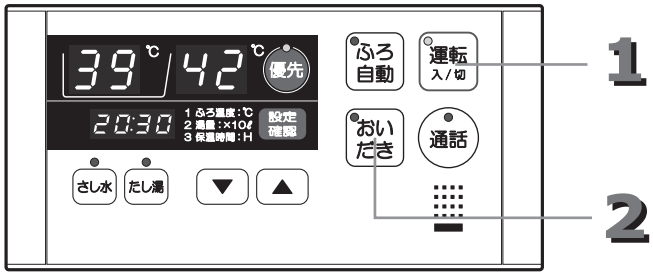
◆給湯リモコン・ふろリモコンどちらでも操作できます。
ここではふろリモコンでご説明します。

残り湯を沸かし直したいときや、沸かし直し直後もう少しあつくしたいときはおいだき機能を使って沸かし上げます。

■給湯リモコン



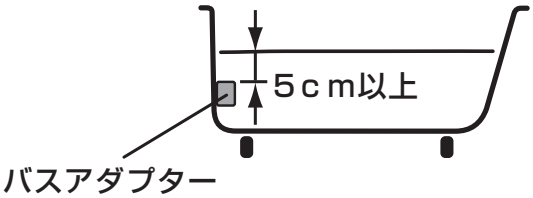
■ふろリモコン



運転前の準備

浴槽のバスアダプターの上端より5ｃｍ以上お湯が入っていることを確認する

●5cm未満の場合、空だきのおそれがあります。



1 運転ランプの点灯を確認する

●運転ランプが点灯していない場合は、運転スイッチを押し、運転を「入」にしてください。

2 おいだきスイッチを押す

●おいだきスイッチを押すとおいだき温度（設定温度）が点滅し、**設定温度までおいだきします。**

●おいだき温度点滅中においだきスイッチを押すごとに、
「設定温度+1℃」→「設定温度+2℃」→「設定温度+3℃」→「おいだき 切」と調節できます。
※ふろ温度の最高温度（48℃）より高い温度にはおいだきできません。

●おいだきが終了すると自動的に止まります。
●おいだき終了後、もとの設定温度に戻ります。

おいだき温度点滅

点火確認ランプ点灯

おいだき終了後

設定温度に戻る

給湯リモコンで操作した場合のみ音声や音でお知らせします。
（ふろリモコンで操作した場合はお知らせしません。）

【MC-126V/FC-126V
MC-126D/FC-126D】

♪♪♪♪
おふろが沸きました。

【MC-126/FC-126】

＼ピー×5回／

おいだき温度確定後（おいだき温度点灯中）に沸かし直しをやめたいとき
もう一度押す

残り湯を沸かし直すときの注意

① 残り湯が十分にあるとき（設定湯量付近まで残り湯があるとき）

おいだき　おいだきスイッチをお使いください。（31ページ参照）

おすすめ！

ふろ自動　ふろ自動スイッチを押すと湯量が増え、お湯があふれることがあります。

使用しないで！

② 残り湯がバスアダプターを隠しているとき

＜フルオートタイプの場合＞

ふろ自動　ふろ自動スイッチをお使いください。（23ページ参照）
※残り湯が浴槽のバスアダプターの上端より5cm以上あることを確認してください。5cmに満たないと残り湯を検知できず、残り湯の分だけ水位が高くなるため、浴槽からお湯があふれることがあります。

注意して使用して

＜オートタイプの場合＞

おいだき　たし湯　おいだきスイッチを押しておいだきし、足りない湯量はたし湯スイッチを押してたし湯してください。
（おいだき：31ページ、たし湯：30ページ参照）

おすすめ！

ふろ自動　ふろ自動スイッチを押すと水位が多少ばらつきます。
※お湯があふれそうになったり、少なかったりします。
※特に残り湯の温度がふろ温度に近いときは、設定した湯量になりません。

おすすめしません

③ 残り湯がバスアダプターの下にあるとき

ふろ自動　ふろ自動スイッチをお使いください。（23ページ参照）
※残り湯がないと検知し、自動運転を行います。
残り湯の分だけ水位が高くなるため、お湯があふれることがあります。

注意して使用して

知っておいてね

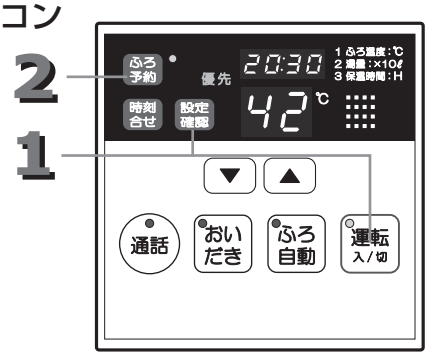
- 残り湯が浴槽のバスアダプターの上端より5cm以上に満たない場合に自動運転を行うと、残り湯を検出できず、残り湯に設定湯量をたすことになります。この場合、残り湯の分だけ設定湯量より湯量が増えるため、浴槽からお湯があふれることがあります。
- ふろ自動運転での沸かし直しの場合は、設定湯量に対して多少の増減があります。
- ふろ自動運転での沸かし直しの場合は、残り湯が設定湯量近くある場合でも、残り湯を検出するためのたし湯を行います。
- 設定温度付近のお湯が残っている状態でふろ自動運転を行うと、たし湯しないことや、湯量が多少ばらつくことがあります。（オートタイプのみ）

予約運転でおふろを入れるには

◆給湯リモコンで設定します。
◆ふろリモコンのみお求めの場合は予約運転が行えません。

設定された予約時刻までに、お湯はりを完了します。

■給湯リモコン



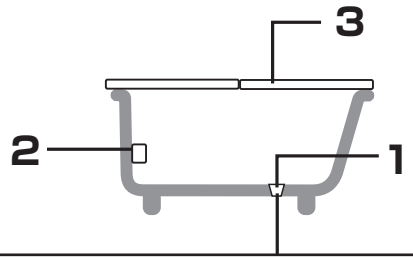
重要

予約運転を行う前に現在時刻と予約時刻を設定する

※現在時刻と予約時刻の設定をしていないと予約運転をセットすることができません。
（「現在時刻を設定するには」19ページ参照
「予約時刻を設定するには」35ページ参照）

運転前の準備

1. 浴槽の排水栓を閉める
2. 浴槽のバスアダプターにフィルターが正しくついていることを確かめる
3. 浴槽のふたをする



排水栓の閉め忘れに注意してください。

1 ふろ温度・ふろ湯量・保温時間・現在時刻を確認する

運転ランプの点灯を確認し、

●運転ランプが点灯していない場合は、運転スイッチを押し、運転を「入」にしてください。

設定/確認スイッチを押す

●設定/確認スイッチを押すごとに、「1、ふろ温度」→「2、ふろ湯量」→「3、保温時間」→「最初の表示画面」と切り替わります。

●現在時刻の設定は19ページを参照してください。

現在時刻の設定をしていないと予約運転をセットすることができません。

●ふろ温度の調節は25ページを参照してください。
●ふろ湯量の調節は26ページを参照してください。
●保温時間の変更は27ページを参照してください。

現在時刻表示

現在時刻

1 ふろ温度

ふろ温度点滅

2 ふろ湯量

ふろ湯量点滅

3 保温時間

保温時間点滅

2 ふろ予約スイッチを押す

●数秒間予約時刻を表示した後、現在時刻を表示します。
●運転スイッチの「入」「切」に関係なく予約運転をセットすることができます。

※予約時刻の設定をしていないと予約運転をセットすることができません。
（「予約時刻を設定するには」35ページ参照）

予約待機中に予約運転をやめたいとき

予約運転開始後（ふろ自動スイッチのランプが点灯した後）に予約運転をやめたいとき

●お湯はりが終了し、予約した時刻になると、音声や音でお知らせします。

【MC-126V/FC-126V
MC-126D/FC-126D】

【MC-126/FC-126】 ピー×5回

予約時刻表示

現在時刻表示

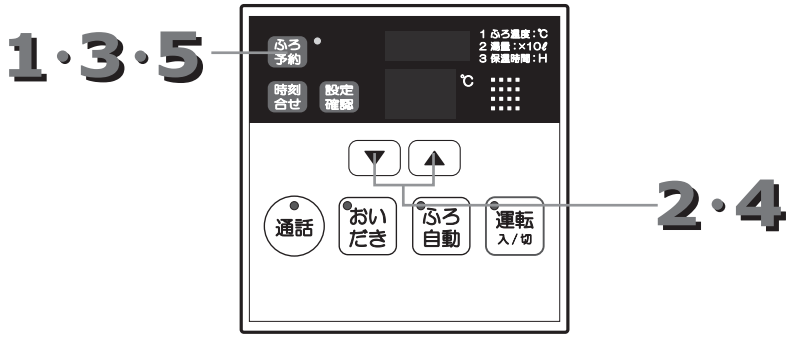
知っておいてね

●現在時刻から予約時刻までが30分以内で運転の予約をした場合には、すぐにお湯はりを開始しますがお湯はり完了が予約時刻より遅くなることがあります。また、運転の予約が予約時刻を過ぎていると、翌日の予約となりますのでご注意ください。
●冬期、水温が低いときや、お湯はり中に他で給湯使用している場合などは、予約時刻までに完了しないことがあります。
●リモコンの設定温度を低くしているときや、夏期など水温が高い場合、はじめに設定水位まで水を注水し、おいだきをして設定温度にすることがあります。その場合、予約時刻までに完了しないことがあります。
●浴槽に残り湯があるときに予約運転を行うと、予約時刻までに完了しないことがあります。

予約時刻を設定するには

◆給湯リモコンで設定します。
◆ふろリモコンのみお求めの場合は予約運転が行えません。

■給湯リモコン



◎運転スイッチの「入」「切」に関係なく設定することができます。ここでは運転「切」時でご説明します。

1 ふろ予約スイッチを長押しする（2秒以上）

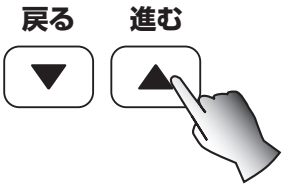
●ピッと音がなるまで2秒以上長押ししてください。
予約ランプが点滅し、時刻表示の「時」が点滅します。

ふろ予約ランプが点滅

時刻表示の「時」が点滅表示

2 選択スイッチを押し、「時」を設定する

●押し続けると連続して変わります。
●「時」は24時間表示です。



3 ふろ予約スイッチを押す

●「時」の設定が完了し、「分」の設定に切り替わります。

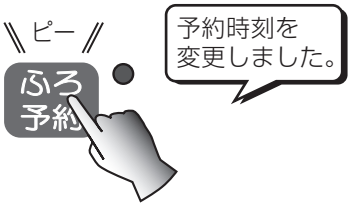
「分」が点滅表示

4 選択スイッチを押し、「分」を設定する

●押し続けると連続して変わります。

5 ふろ予約スイッチを押す

●予約時刻を設定しました。
●設定を記憶します。



消灯

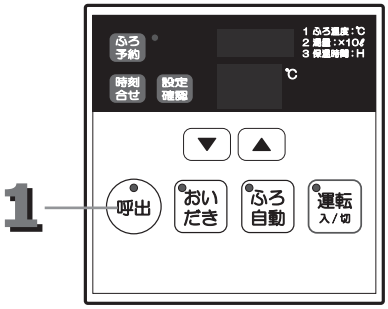
※ふろ予約スイッチを押さずに、そのまま約3分経過するとそのときの設定内容で自動的に設定が完了します。

呼び出すには

◆給湯リモコン・ふろリモコンどちらでも操作できます。

リモコンの呼び出し音を鳴らして人を呼び出せます。
※呼び出し機能ですので、通話することはできません。

■給湯リモコン
MC-126
MC-126V



*イラストはMC-126を示しています。

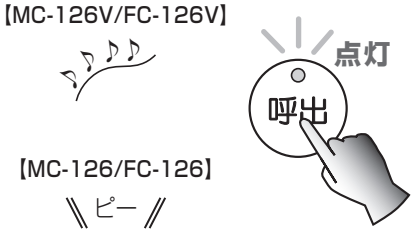
■ふろリモコン
FC-126
FC-126V

*イラストはFC-126を示しています。

◎運転スイッチの「入」「切」に関係なく使用することができます。ここでは運転「切」時でご説明します。

1 呼出スイッチを押す

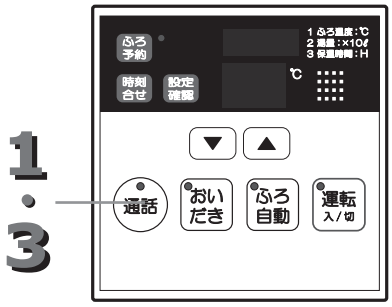
●全てのリモコンで呼び出し音が鳴ります。
一度押すと、約4秒間鳴ります。



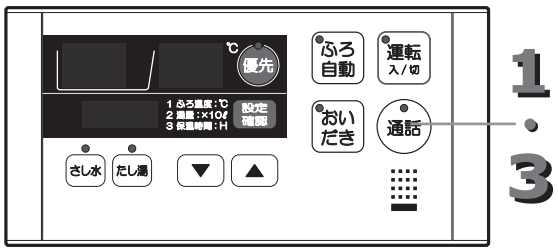
おふろと台所で通話するには

◆給湯リモコン・ふろリモコンどちらでも操作できます。
ここでは給湯リモコンでご説明します。

■給湯リモコン
MC-126D

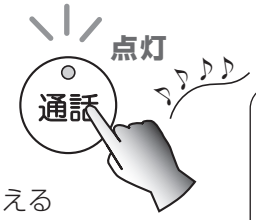


■ふろリモコン
FC-126D



◎運転スイッチの「入」「切」に関係なく使用することができます。ここでは運転「切」時でご説明します。

1 通話スイッチを押す



●相手側のリモコンで呼び出しメロディが流れ、相手を呼び出します。
●給湯リモコンで浴室の音が聞こえる状態になります。

2 通話する

言葉が途切れたり、声が小さい場合は、リモコンに近づいて通話してください。

●給湯リモコン側からは通話スイッチを押しながら通話します。
（通話ランプ：点滅）
●通話スイッチを押している間は浴室内の音は聞こえません。

●ふろリモコン側からはハンズフリー（通話スイッチを押さないで）で通話できます。
（通話ランプ：点灯）

3 通話スイッチを押す

●通話を終了します。
●相手側のリモコンも連動します。
●通話スイッチを「入」にしてから1時間で自動的に「切」になります。

通話の音量を調節するには

通話中に
選択スイッチを押し、
音量調節する

運転「切」時のみ設定できます

●音量は「1（小）」「2（標準）」「3（大）」に調節できます。
●初期設定は「2」です。
● ▲スイッチを押すごとに、1→2→3、
▼スイッチを押すごとに、3→2→1と
音量が切り替わります。

知っておいてね

●操作はそれぞれのリモコンで行ってください。両方同時には変わりません。
●停電したり、電源プラグが抜けた後は、初期設定に戻ります。

知っておいてね

●通話中にリモコンのスイッチを押したり、燃焼ランプが点灯したとき、音声が途切れることがありますが異常ではありません。
●増設したリモコン（MC-126/MC-126V）は、他のリモコンからの通話スイッチには反応しません。ただし、増設したリモコン（MC-126/MC-126V）から呼び出しスイッチを押すと、全てのリモコンで呼び出し音が鳴ります。

安心モニター

通話スイッチを「入」にしておくと、音で浴室の様子がわかり、万一の場合を早く察知することができます。

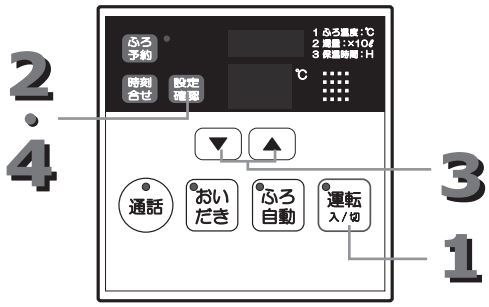
また、プライバシー保護のため、モニター機能作動中のときは通話ランプが点灯するようになっています。

音声ガイドの音量を調節するには

◆給湯リモコン・ふろリモコンそれぞれで設定します。
ここでは給湯リモコンでご説明します。

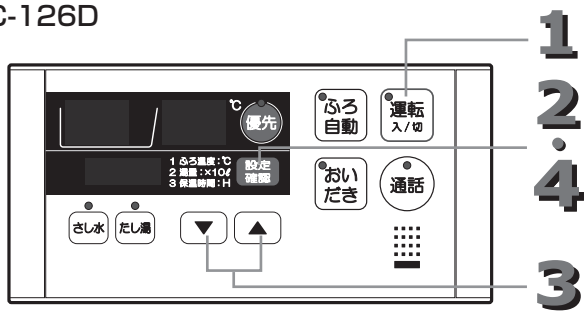
■給湯リモコン
MC-126V
MC-126D

*イラストはMC-126Dを示しています。



■ふろリモコン
FC-126V
FC-126D

*イラストはFC-126Dを示しています。



1 運転ランプの消灯を確認する

●運転ランプが消灯していない場合は、運転スイッチを押し、運転を「切」にしてください。

2 設定/確認スイッチを押す

設定項目番号「4」を選択する

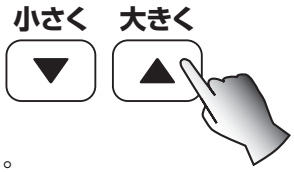
●設定/確認スイッチを押すごとに、
「1、ふろ温度」→「2、ふろ湯量」→「3、保温時間」→
「4、音声ガイド音」→「5、操作確認音」→
「6、配管洗浄」→「切」と切り替わります。

設定項目番号

現在の音量が点滅

※設定項目番号1～2は運転「入」時のみ変更可能な項目のため、表示画面に設定内容は表示されません。

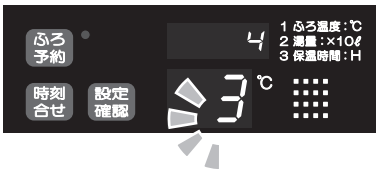
3 選択スイッチを押し、音量を設定する



●音量は「0（消音）」「1（小）」「2（標準）」「3（大）」に調節できます。
●初期設定は「2」です。

音量「0」にした場合	音量「1～3」にした場合
音声を消します。	音声は○○です。

● ▲ スイッチを押すごとに、0→1→2→3、▼ スイッチを押すごとに、3→2→1→0と音量が切り替わります。



4 設定/確認スイッチを押す

●設定が完了します。
●設定/確認スイッチを押さずに、そのまま約30秒経過すると自動的に設定が完了します。

知っておいてね

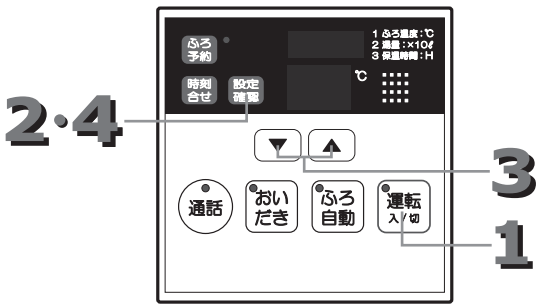
●操作はそれぞれのリモコンで行ってください。両方同時には変わりません。
●停電したり、電源プラグが抜けた後は、初期設定に戻ります。

操作確認音・お知らせ音の音量を調節するには

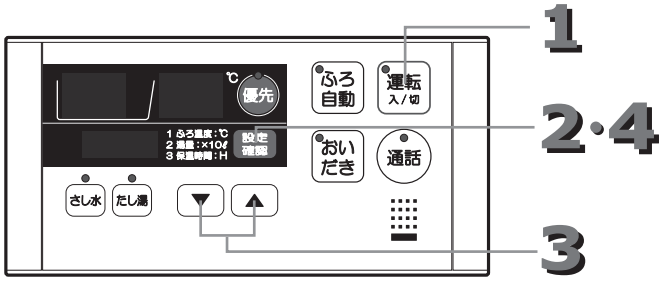
◆給湯リモコン・ふろリモコンそれぞれで設定します。
ここでは給湯リモコンでご説明します。

操作確認音、お知らせメロディ・ブザー、呼び出しメロディ・ブザーの音量を調節します。

■給湯リモコン



■ふろリモコン



≪調節できる音の種類≫

- ●操作確認音…スイッチを押したときに鳴る音
- ●お知らせメロディ・ブザー…おふろが沸いたときなどのお知らせ音
- ●呼び出しメロディ・ブザー…呼び出しや通話のときの呼び出し音

■MC-126V・FC-126V・MC-126D・FC-126Dの場合

音量表示	操作確認音 お知らせメロディ	呼び出しメロディ
0	消音	小
1	小	小
2	標準	標準
3	大	大

■MC-126・FC-126の場合

音量表示	操作確認音 お知らせブザー	呼び出しブザー
0	消音	小
1	小	小
2	大	大

※音量表示を「0」にしても、呼び出しメロディ・ブザーは「小」のままで「消音」にはなりません。

1 運転ランプの消灯を確認する

●運転ランプが消灯していない場合は、運転スイッチを押し、
運転を「切」にしてください。

2 設定/確認スイッチを押す

設定項目番号「5」を選択する

●設定/確認スイッチを押すごとに、
「1、ふろ温度」→「2、ふろ湯量」→
「3、保温時間」→「4、音声ガイド音」→
「5、操作確認音」→「6、配管洗浄」→
「切」と切り替わります。

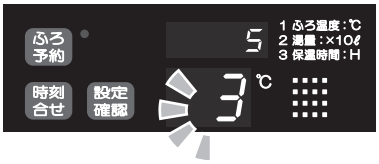
設定項目番号

現在の音量が点滅

※設定項目番号1～2は運転「入」時のみ変更可能な項目のため、表示画面に設定内容は表示されません。

※設定項目番号4はMC-126・FC-126では設定がないため、表示画面に設定内容は表示されません。

3 選択スイッチを押し、音量を設定する



MC-126V・FC-126V・MC-126D・FC-126Dの場合

●音量は、0～3段階に調節できます。
●初期設定は「2」です。

● ▲スイッチを押すごとに、0→1→2→3、
▼スイッチを押すごとに、3→2→1→0と
音量が切り替わります。

音量「0」にした場合
音を消します。

音量「1～3」にした場合
音量は○○です。

MC-126・FC-126の場合

●音量は、0～2段階に調節できます。
●初期設定は「2」です。

● ▲スイッチを押すごとに、0→1→2、
▼スイッチを押すごとに、2→1→0と
音量が切り替わります。

4 設定/確認スイッチを押す

●設定が完了します。
●設定/確認スイッチを押さずに、そのまま約30秒経過するとそのときの設定内容で自動的に設定が完了します。

知っておいてね

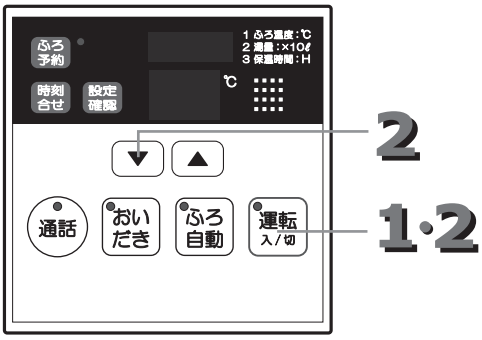
●操作はそれぞれのリモコンで行ってください。両方同時には変わりません。
●停電したり、電源プラグが抜けた後は、初期設定に戻ります。

省電力モードについて

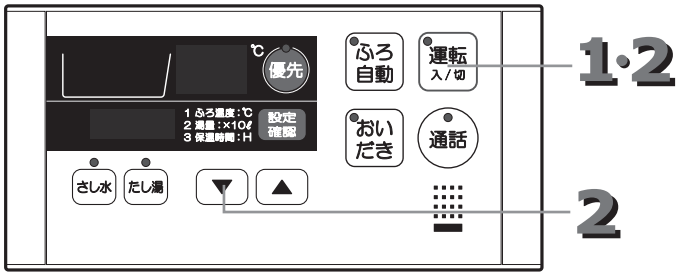
◆給湯リモコン・ふろリモコンそれぞれで設定できます。
ここでは給湯リモコンでご説明します。

省電力モードとは、運転スイッチを押し、運転を「入」の状態で約10分間リモコンの操作を行わないと、自動的にリモコンの表示画面が消える設定のことです。（※スイッチのランプは消えません。）
現在時刻を常時点灯させるには省電力モードを解除してください。

■給湯リモコン



■ふろリモコン



省電力モードを解除、または設定する手順　◎初期設定は省電力モードに設定されています。

1 運転ランプの消灯を確認する

●運転ランプが消灯していない場合は、運転スイッチを押し、運転を「切」にしてください。

2 選択スイッチの ▼ を押しながら運転スイッチを押す

省電力モードに設定されると
省電力モードに変更しました。

省電力モードが解除されると
省電力モードを解除しました。

●省電力モードが解除されます。
●省電力モードを再設定する場合も同様の操作を行ってください。

現在時刻を表示

※現在時刻を設定していないと表示されません。
※省電力モードを解除すると運転の「入」「切」に関係なく現在時刻を常時表示します。

知っておいてね

●操作はそれぞれのリモコンで行ってください。両方同時には変わりません。
●停電したり、電源プラグが抜けた後は、省電力モードに戻ります。
●省電力モードになった状態でリモコンのスイッチを押すと、表示画面が点灯します。
表示画面が点灯した状態で操作を開始してください。

●下記の場合、省電力モードは機能しません。

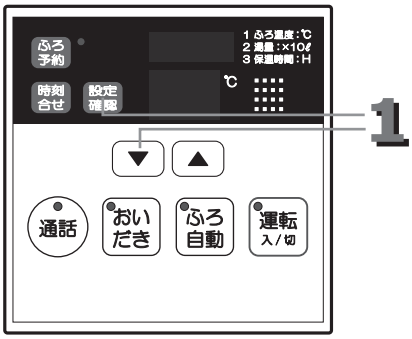
◎運転スイッチ以外の操作をしている場合
◎予約運転が設定されている場合
◎通話スイッチが「入」の場合
◎給湯温度が60℃に設定されている場合
◎燃焼している場合（燃焼ランプ 🔥🔥 点灯中）
◎保温中の場合

チャイルドロックを設定するには

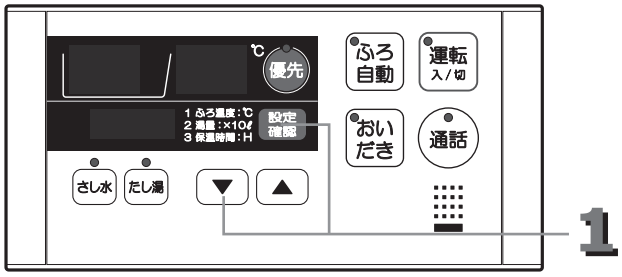
◆給湯リモコン・ふろリモコンそれぞれで設定できます。
ここでは給湯リモコンでご説明します。

小さなお子さまのいたずらによる事故を防止するため、ロック機能がついています。

■給湯リモコン



■ふろリモコン



◎運転スイッチの「入」「切」に関係なく設定することができます。ここでは運転「切」時でご説明します。

1 設定/確認スイッチを押しながら選択スイッチ ▼ を押す

チャイルドロックが設定されると
チャイルドロックを設定しました。

チャイルドロックが解除されると
チャイルドロックを解除しました。

●解除するには再度、同様の操作を行ってください。

知っておいてね

●操作はそれぞれのリモコンで行ってください。両方同時には変わりません。
●停電したり、電源プラグが抜けた後は、初期設定に戻ります。（初期設定はオフです。）

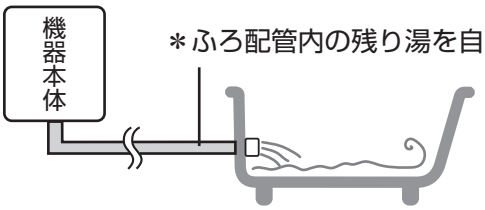
●チャイルドロックを設定している場合でも下記の操作は行うことができます。
それ以外の操作をしようとすると表示画面に「ーー」が表示されます。

◎運転スイッチの「切」
◎通話機能の操作（MC-126D、FC-126D）
呼び出し機能の操作（MC-126、FC-126、MC-126V、FC-126V）
◎ふろ自動運転、おいだき、沸かし直し、たし湯、さし水の停止操作

配管洗浄について

◆給湯リモコン・ふろリモコンどちらでも操作できます。
ここでは給湯リモコンでご説明します。

**配管洗浄とは、ふろ配管内に新しいお湯または水を流し込み、
ふろ配管内の残り湯を押し出す機能です。お好みにより設定してください。
設定すると、自動運転または、予約運転でお湯はりをした場合、配管洗浄が作動します。
（配管内の雑菌などを除去する機能ではありません。）**

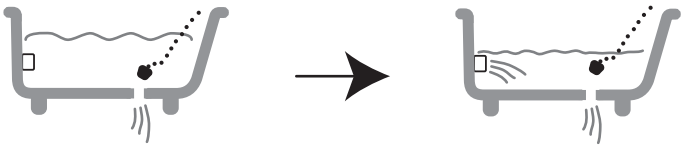


**＊初期設定はオフです。
お好みにより設定してください。**

配管洗浄が行われるとき

FA：フルオートタイプ

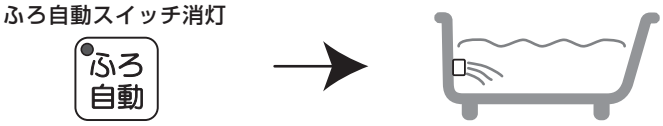
自動運転が終了後、（ふろ自動スイッチが消灯したとき）浴槽内の排水栓を抜き、湯量がバスアダプター付近になったとき。



※自動運転が終了した後、24時間を超えてから浴槽内の湯を抜いても配管洗浄は行われません。
※台所などの給湯栓でお湯（水）を使用していると配管洗浄は行われません。

A：オートタイプ

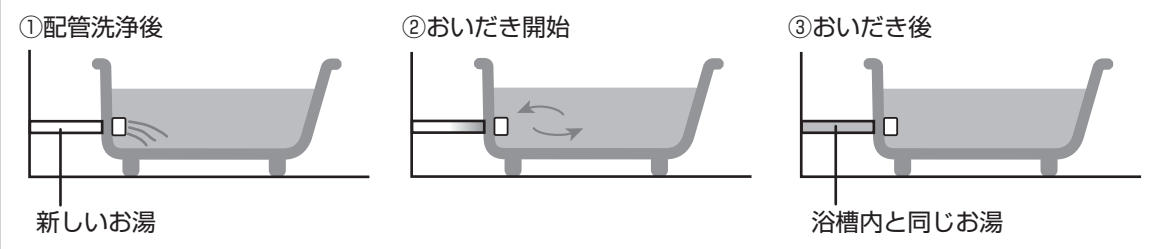
自動運転が終了したとき。（ふろ自動スイッチが消灯したとき）
自動運転が終了すると、浴槽にお湯が残った状態でも配管洗浄が行われます。



※ふろ自動運転の保温時間が0時間に設定してあると配管洗浄は行われません。

知っておいてね

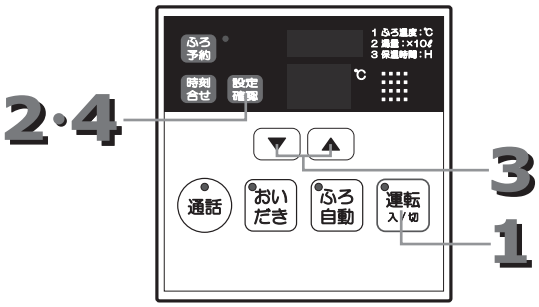
●配管洗浄を行った後に沸かし直し（おいだき）機能を使用しないでください。
→配管洗浄で新しいお湯に入れ替えたふろ配管内に再度、浴槽のお湯が流れ込んでしまいます。
（オートタイプのみ）



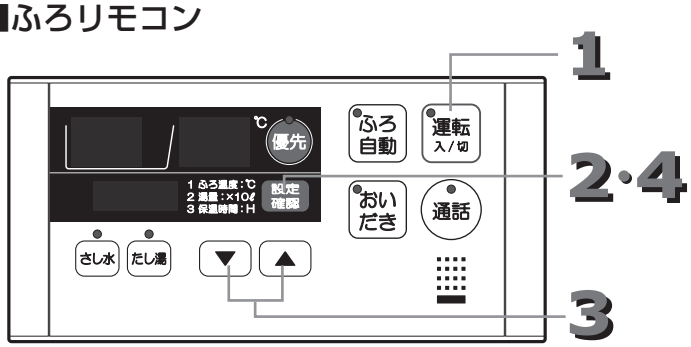
→沸かし直し（おいだき）をした場合、たし湯機能または、さし水機能を使用してください。
ふろ配管内に新しいお湯（水）が流れ込み、ふろ配管内が配管洗浄後の状態に戻ります。
（29、30ページ）

●配管洗浄はリモコンの運転「入」の場合、ふろ設定温度のお湯を約7L配管内に流し込みます。
リモコンが運転「切」の場合は、水を約7L配管内に流し込みます。

■給湯リモコン



■ふろリモコン



配管洗浄を設定、または解除する手順

1 運転ランプの消灯を確認する

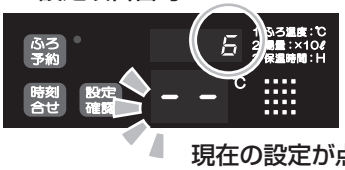
●運転ランプが消灯していない場合は、運転スイッチを押し，運転を「切」にしてください。

2 設定/確認スイッチを押す

設定項目番号「6」を選択する

●設定/確認スイッチを押すごとに、
「1、ふろ温度」→「2、ふろ湯量」→
「3、保温時間」→「4、音声ガイド音」→
「5、操作確認音」→「6、配管洗浄」→
「切」と切り替わります。

設定項目番号



現在の設定が点滅

- -（オフ）：配管洗浄が設定されていない状態

on（オン）：配管洗浄が設定された状態

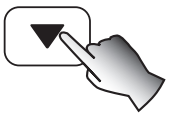
※設定項目番号1～2は運転「入」時のみ変更可能な項目のため、表示画面に設定内容は表示されません。

※設定項目番号4はMC-126・FC-126では設定がないため、表示画面に設定内容は表示されません。

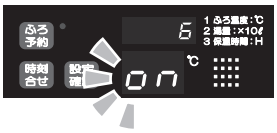
3 選択スイッチを押し、設定する

●設定する場合
→ ▲ スイッチを押す

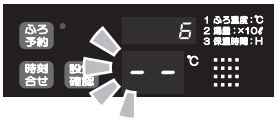
●解除する場合
→ ▼ スイッチを押す



【設定】オン表示が点滅



【解除】オフ表示が点滅



4 設定/確認スイッチを押す

●配管洗浄が設定または、解除されます。

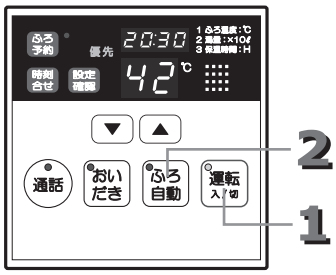
●設定/確認スイッチを押さずに、そのまま約30秒経過すると手順 3 で選択した表示のまま設定が完了します。

機器移設・浴槽買い替え時の再設定

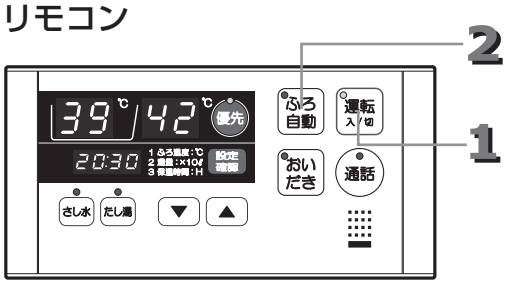
◆給湯リモコン・ふろリモコンどちらでも操作できます。
ここではふろリモコンでご説明します。

増改築などで浴槽を買い替えた場合や、機器の設置場所を移動した場合は、新しい設置状態を機器に記憶させる必要があります。
設定した湯量にならない原因となりますので、再設定してください。

■給湯リモコン

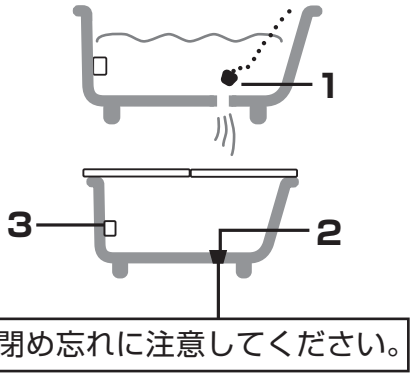


■ふろリモコン



運転前の準備

1. 浴槽の残り湯をすべて排出する
2. 浴槽の排水栓を閉める
3. 浴槽のバスアダプターにフィルターがついていることを確かめる

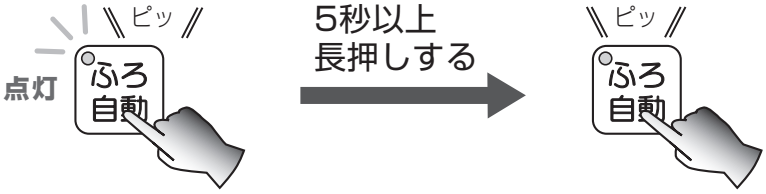


1 運転ランプの点灯を確認する

●運転ランプが点灯していない場合は、運転スイッチを押し、運転を「入」にしてください。

2 ふろ自動スイッチを長押しする（5秒以上）

●5秒以上長押ししないと通常のふろ自動運転になります。
ピッと音がするまで5秒以上しっかり押してください。
（操作確認音を消音に設定していると音がなりませんので、5秒後の報知音が鳴りません。音量のある状態で設定してください。）



●ふろ自動運転と同じ動きを開始しますのでお湯はり後、保温を開始します。（23・24ページ参照）

＜フルオートタイプの場合＞
通常のお湯はりより時間がかかりますが、異常ではありません。
＜オートタイプの場合＞
保温を開始した際に、5ℓの水が浴槽に流れ込むことがありますが、機器が新しい設置状態を記憶するための動作ですので異常ではありません。

ふろ温度に変更

点火確認ランプ点灯

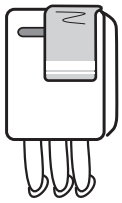
点検とお手入れ

●日常の点検・お手入れは必ず行ってください。
●故障または破損したと思われる場合は使用しないで、お買い上げの販売店かパロマまで点検・修理を依頼してください。
●お手入れの際には必ず電源プラグを抜き、ガス栓を閉め、機器が冷えてから行ってください。
なお、電源プラグを抜くと通話の音量設定・音声ガイドの音量設定・操作確認音/お知らせ音の音量設定・省電力モードが初期化され、チャイルドロックが解除されます。また、現在時刻は電源プラグが抜けていた間の時刻が遅れます。再度設定してください。
●お手入れの際、指先などのけがには十分注意してください。

■定期点検のおすすめ

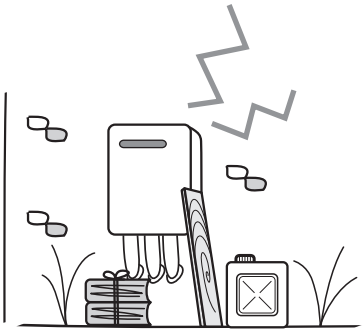
より長く安全にお使いいただくために、2年に1回程度（使用頻度の高い場合は1年に2回程度）の定期点検を受けられることをおすすめします。なお、本製品の逆流防止装置に関しては4～6年に1回程度の定期点検をおすすめします。お買い上げの販売店かパロマまでご相談のうえ、お申しつけください。（有料）

点検のポイント（ご使用のたびに）



1.給気口・排気口・排気筒トップを異物やほこりでふさいでいませんか?

不完全燃焼や異常過熱の原因になります。排気口・給気口・排気筒トップをふさがないでください。排気口・給気口・排気筒トップへの積雪や、屋根から落ちた雪により排気口・給気口・排気筒トップがふさがれた場合、機器が不完全燃焼することがあります。
積雪時には排気口・給気口・排気筒トップの点検、除雪を行ってください。
屋根から落ちた雪が排気口・給気口・排気筒トップをふさぐおそれのある場合はもよりの施工業者などに連絡し、設置場所を変更する必要があります。



2.機器のまわりに燃えやすいものはありませんか?

3.運転中に異常音は聞こえませんか？

4.機器配管からガス漏れ・水漏れはありませんか?

5.外観に変色などの異常はありませんか?

6.電源プラグにほこりがたまっていませんか？

7.ドレン配管の先がゴミなどで詰まっていませんか？

お手入れのしかた（月に１回程度）

機器本体・リモコン

水気をかたくしぼったやわらかい布に台所用中性洗剤を含ませて汚れを落とし、乾いた布で水気を十分ふき取る

おねがい

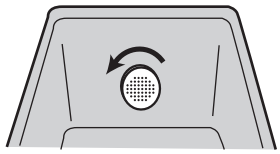
●浴槽、洗面台もこまめに掃除してください。湯あかが残っていると、水中に含まれるわずかな銅イオンと石けんなどに含まれる脂肪酸とが反応し、浴槽、洗面台が青く変色することがあります。
●機器本体をたわしやブラシなどでこすらないでください。
●シンナー、ベンジンや酸性・アルカリ性洗剤は使わないでください。機器損傷の原因になります。
印刷・塗装面には、みがき粉・たわしなど固いものは使わないでください。表面を傷つけます。
●機器外装のお手入れの際、銘板をはがさないでください。
●ふろリモコンは防水タイプですが故意に水をかけないでください。給湯リモコンは防水タイプではありません。
●リモコンは子供がいたずらしないように注意してください。
●点検・お手入れ後は、給湯栓を開け機器が正常に作動するかどうか確認してください。

点検とお手入れ

お手入れのしかた（月に１回程度）

フィルター

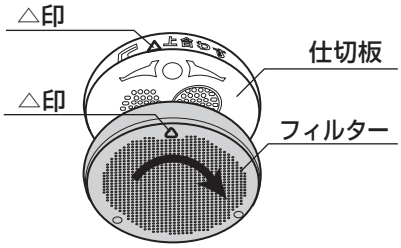
バスアダプターについているフィルターを外して、こまめに掃除してください。



1 バスアダプターのフィルターを左に回して外す

2 フィルターを掃除する

- フィルターおよび仕切板に付着した湯あか（ごみ、糸くず、固形物など）はこまめに歯ブラシなどで洗い落してください。
- 目詰まりするとおふろの温度が設定温度にならないなどの原因となります。



3 元通りに取り付ける

- フィルターの△印と仕切板の△印を合わせてはめ込み、右に回してカチッと音が鳴り、止まるまで固定してください。

おねがい

フィルターを掃除した後は、必ず元のように取り付けてください。
フィルターが外れていたり、取り付けかたが不十分だと機器の故障の原因になります。

水抜き栓フィルター

- お湯を使用後は、機器内のお湯が高温になっていますので、リモコンの運転スイッチを「切」にし、機器が冷えてから行ってください。
- 水抜き栓を外すときに、水が飛び出ることがありますので、ゆっくり外してください。

1 給水元栓を閉める

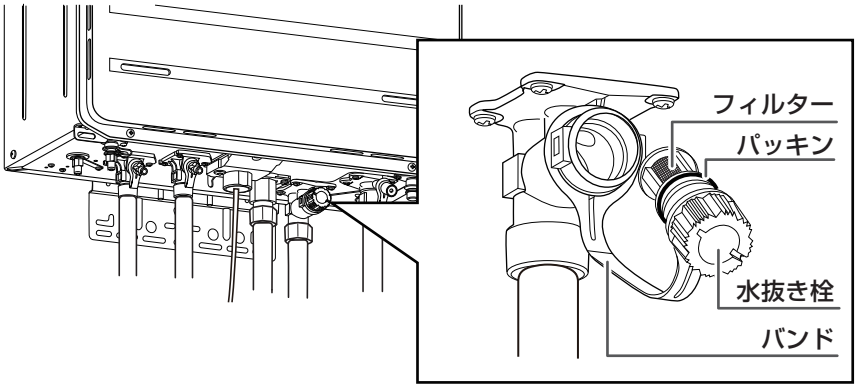
2 すべての給湯栓（シャワーを含む）を開ける

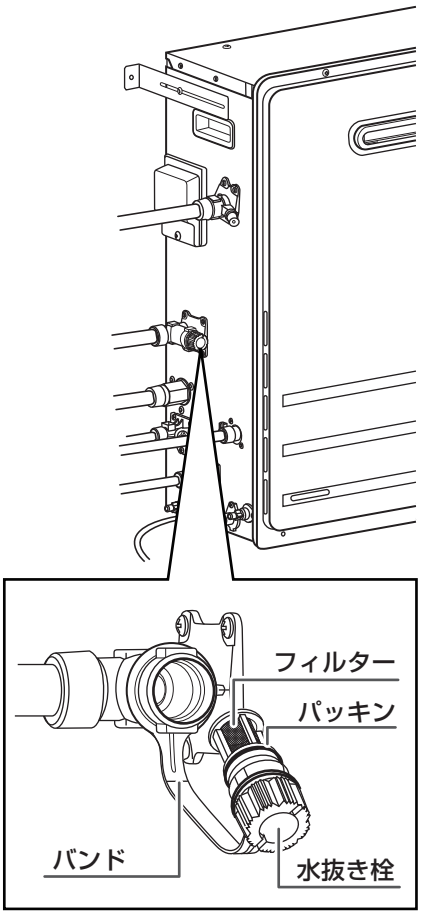
3 水抜き栓を外し、フィルター部分のゴミを取り除く

4 元どおりに水抜き栓を取り付ける

5 すべての給湯栓（シャワーを含む）を閉める

6 給水元栓を開けて水抜き栓周辺に水漏れがないことを確認する





凍結を防ぐには

＊暖かい地域でも機器や配管内の水が凍結し、破損するおそれがありますので、下記の必要な処置をしてください。
＊停電時は凍結予防ヒータが働きませんので、「水抜きによる方法」（49ページ参照）で凍結による破損防止の処置を行ってください。（停電時はリモコンの操作は出来ませんが、それ以外の操作を行ってください。）

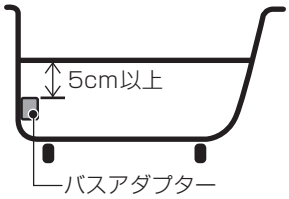
対策① 通常の寒さの場合　≪凍結予防ヒータとポンプ運転による方法≫

1 電源プラグを抜かないでください。

外気温が下がると凍結予防ヒータが自動的に機器内を保温します。

2 浴槽内のバスアダプターの上端より5cm以上水（お湯）を入れておいてください。

外気温が下がると自動的にポンプで浴槽の水を循環させて凍結を予防します。（なお、燃焼はしません。）



対策② 冷え込みが厳しい場合※　≪通水による（蛇口から水を流す）方法≫

※－15℃以下または、－15℃より気温は高くても風がある場合

1 電源プラグを抜かないでください。

2 給湯栓から水を流してください。

1.リモコンの運転スイッチを「切」にする

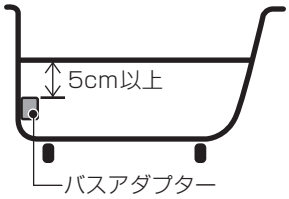
2.給湯栓より少量の水（太さ約4mm）を流したままにしておく

※サーモスタット付きやシングルレバー式の混合水栓の場合、混合水栓側の温度設定を最高温度側にしてください。（再使用時には温度設定にはご注意ください。）

3.流量が不安定になることがあるので、約30分後にもう一度確認する

3 浴槽内のバスアダプターの上端より5cm以上水（お湯）を入れておいてください。

外気温が下がると自動的にポンプで浴槽の水を循環させて凍結を予防します。（なお、燃焼はしません。）



知っておいてね

- 「対策①」は機器内は保温しますが、配管・バルブ類の凍結予防はできませんので、配管は水入口・湯出口まで保温材でおおうなどして凍結予防してください。
- 「対策②」は機器本体だけでなく、給水、給湯配管・バルブ類の凍結予防もできます。
- 不凍栓をご使用時は浴槽の水を循環することができませんので、ふろ配管をその地域に合わせた保温処理（保温材など）が必要です。

凍結を防ぐには

対策③ 長期間使用しない場合 ≪水抜きによる方法≫

※機器の水抜きをする場合、リモコンを「切」にし、機器が冷えてから行ってください。

⚠ 水抜き栓を外すときの注意

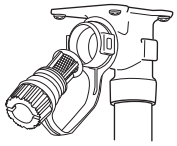
■7か所すべての水抜き栓を外す

■完全に抜けるまで外す

※機器の水抜きをする場合、リモコンを「切」にし、機器が冷えてから行ってください。

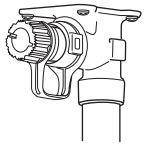
※水抜き栓を外すときは、水が飛び出すおそれがありますのでゆっくり外してください。

良い例



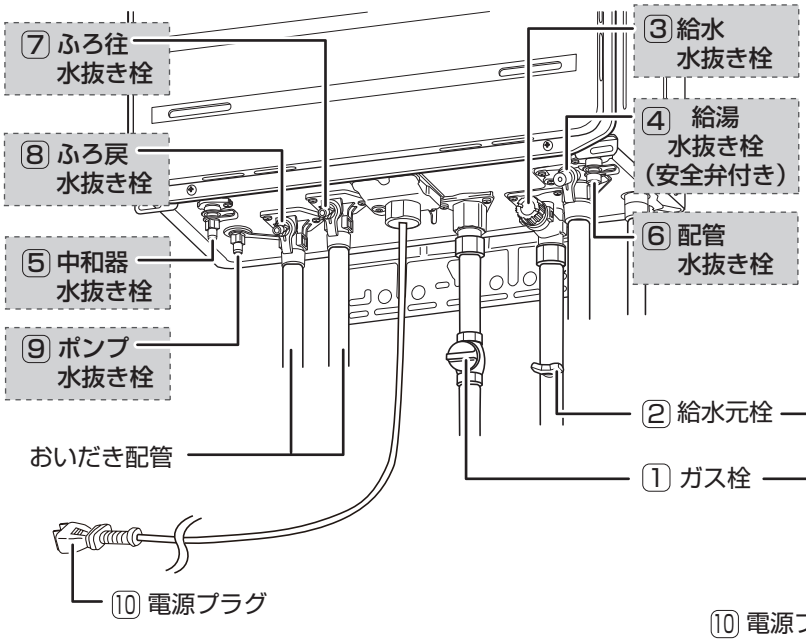
完全に抜けるまで外す

悪い例

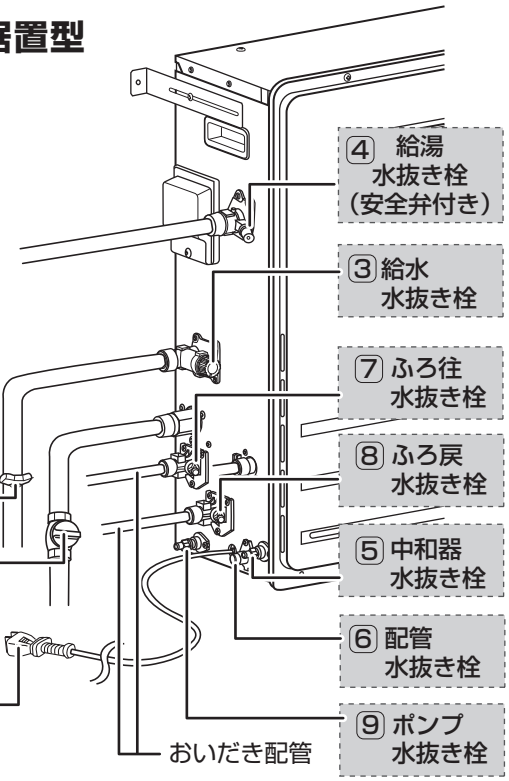


少しゆるめただけ

■壁掛型



■据置型



まずはじめに

①浴槽の水を排水する。

リモコンを操作します

（ポンプを回転させ、おいだき配管内の水を抜きます。）

②リモコンを「切」にする。

③ふろリモコンの「さし水スイッチ」と「たし湯スイッチ」同時に5秒間押し、リモコン表示部に「oF」が点滅したら手を離す。約5分後にブザーが鳴って「oF」が消えるのでそれまで放置する。

＊FC-125ADⅡをご使用のお客様は湯量選択スイッチ（▲ または ▼）を5秒間押してください。
＊FC-E125ADをご使用のお客様はメニュースイッチから「機器の水抜き」を選択してください。

ガスや水を止めます

④ガス栓 ① を閉める。

⑤給水元栓 ② を閉める。（寒冷地域などで不凍栓使用時は不凍栓を閉め、給水元栓を全開にする。）

給湯側から水抜き栓を開けます

⑥すべての給湯栓を開ける。（シャワーも含む）

⑦給水水抜き栓 ③ 、給湯水抜き栓 ④ 、中和器水抜き栓 ⑤ 、配管水抜き栓 ⑥ を外す。

ふろ側の水抜き栓を開けます

⑧ふろ往水抜き栓 ⑦ 、ふろ戻水抜き栓 ⑧ 、ポンプ水抜き栓 ⑨ を外す。（⑦・⑧・⑨は順不同）

⑨電源プラグ ⑩ を抜く。

●再度使用するまでこのままにしておきます。

水抜き後再使用するとき

給湯側から水抜き栓を閉めます

① 電源プラグ ⑩ をコンセントに差し込む。

② 給水水抜き栓 ③ 、給湯水抜き栓 ④、中和器水抜き栓 ⑤ 、配管水抜き栓 ⑥ を閉める。

③ 給水元栓 ②（または不凍栓）を開け、すべての給湯栓より水が出ることを確かめてから、 一旦給湯栓で水を止める。（このとき配管より水漏れがないことを確認） 水が出ない場合は、電源プラグ ⑩ を差し込んだまま、約30分後にもう一度③の操作を繰り返す。

④ ガス栓 ① を全開にする。

⑤ リモコンの運転スイッチを「入」にし、40～50℃くらいのお湯を給湯栓よりしばらく流す。お湯にならない場合でも、しばらく流してください。（約2分程度）

ふろ側の水抜き栓を閉めます

⑥ ふろ往水抜き栓 ⑦ 、ふろ戻水抜き栓 ⑧ 、ポンプ水抜き栓 ⑨ を閉める。

⑦ ふろ自動スイッチを「入」にし、しばらくしてバスアダプターよりお湯が出てくることを確認し、「切」にする。

⚠警告

ぬれ手禁止

■ぬれた手で電源プラグを触らない。
雨が降り出している場合は、電源プラグを抜かない

→感電のおそれがあります。

凍結したときは

●凍結すると、機器の破損・異常を起こし、水漏れや空だきなどのおそれがあります。
●凍結したときは溶けるのを待ち、水漏れや作動に異常がないか確認してからお使いください。
●凍結予防せずに凍結して、機器や配管を損傷させた場合の修理は有料となります。
凍結予防せずに凍結した場合の事故については当社では責任を負いかねます。

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら、リモコンの表示部にエラーコードが表示されていないか確認します。

■給湯リモコン

■ふろリモコン

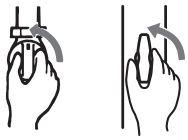
エラーコード

エラーコードが表示されたら

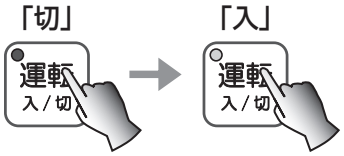
1.下記の操作を行ってください。

①お湯を使用している場合は、給湯栓を閉めてください。

②ガス栓と給水元栓が十分に開けてあるか確認してください。



③リモコンの運転スイッチを押し、運転を「切」にしてください。1分ほど待ってから再び運転スイッチを押し、運転を「入」にしてください。



④給湯栓を再び開けてください。

2.それでもなおエラーコードが表示される場合、
- ●下記一覧以外のエラーコードが表示される場合は、3へ
- ●下記エラーコードが表示される場合は、給湯栓を閉めリモコンの運転スイッチを押し、運転を「切」にする。一覧の処置をした後、再使用する。それでもエラーコードが表示される場合は、3へ

3.給湯栓を閉め、リモコンの運転スイッチを押し、運転を「切」にし、ガス栓、給水元栓を閉めた後、お買い上げの販売店かパロマまで点検・修理を依頼する。
このとき作業を円滑に行うため、エラーコードの表示をお知らせください。

エラーコード	原　　因	処　　置
032	排水栓が外れているまたは閉めかたが不十分である。	排水栓を確実に閉める。
	浴槽が大きいため、設定したふろ湯量でお湯はりしてもお湯がバスアダプターの上端まで届いていない。	設定湯量を増やしてバスアダプターの上端より5cm以上お湯が溜まるように湯量を変更する。 ※フルオートの機器をご使用の場合、機器が記憶しているふろ湯量が合っていないことがあります。「機器移設・浴槽買い替え時の再設定」を参照し、操作してください。（45ページ）
	バスアダプターのフィルターが目詰まりしている。	バスアダプターのフィルターの掃除をする。（47ページ）
101	機器の給気口をふさいでいる。	機器の給気口をふさいでいるものを取り除く。
111	ガスメーター（マイコンメーター）がガスを遮断している。	お近くのガス事業者へ連絡する。
111　112 121　122	ガス栓の開きが不十分である。	ガス栓を全開にする。
	LPガスがなくなりかけている。（LPガス使用の場合）	ボンベの交換をガス事業者に依頼する。
412	お湯はりしていても設定湯量までお湯がたまらない。	給水元栓を全開にする。
		断水しているので通水するまで待つ。

エラーコード	原　　因	処　　置
632	お湯（水）がバスアダプターの上端より5ｃｍ以上満たないのに、おいだきスイッチを押した。	バスアダプターの上端より5ｃｍ以上お湯（水）を満たす。
		排水栓を確実に閉める。
	排水栓が外れている、または閉めかたが不十分な状態でふろ自動スイッチを押した。	排水栓を確実に閉める。
	バスアダプターのフィルターが目詰まりしている。	バスアダプターのフィルターの掃除をする。（47ページ）
888	一般的な使用で10年相当使用されたため、「点検おしらせ機能」が働いた。	異常ではありません。使用はできますが、安全のためお買い上げの販売店かパロマまで点検（有料）をご依頼ください。
920（燃焼開始時に表示します。）↓930	長年の使用により中和剤が減少している。	中和器の交換が必要ですので、お買い上げの販売店かパロマまでご連絡ください。
	中和器の交換が必要ですので、お買い上げの販売店かパロマまでご連絡ください。	

エラーコードが表示されていない場合

下記のような現象が生じた場合は、症状に応じた処置を行ってください。
また処置をしてもなお異常があるときや、ご不明な点はお買い上げの販売店かパロマまでご連絡ください。

■『温度』について

現　　象	原　因　と　処　置
給湯栓を開けても お湯が出ない	●給水元栓・ガス栓が十分開いていない。（18ページ） ●ガスメーター（マイコンメーター）がガスを遮断している。 ●LPガス使用の場合、LPガスがなくなりかけている。 ●給湯栓を絞りすぎている。（通水量が少なくなると消火します。） ●凍結している。（50ページ） ●運転スイッチが「入」になっていない。 ●断続的に給湯栓を開けている。 ●機器から給湯栓までの距離が長いと、お湯が出るまでに時間がかかることがあります。 ●停電している。（11ページ） ●電源プラグが抜けている。 ●断水している。 ●水抜き栓フィルターにゴミが詰まっている。（47ページ）
途中で水になる 使用中に消火した	●給水元栓・ガス栓が十分開いていない。（18ページ） ●ガスメーター（マイコンメーター）がガスを遮断している。 ●LPガス使用の場合、LPガスがなくなりかけている。 ●停電している。（11ページ） ●電源プラグが抜けている。 ●給湯栓を絞りすぎている。（通水量が少なくなると消火します。）

故障かな？と思ったら

■『温度』について

現　象	原　因　と　処　置
低温のお湯が出ない	●少量のお湯を使用しようとすると、お湯の温度が高くなります。 （給湯栓をもっと開けてお湯の量を多くすれば、お湯の温度は安定します。） ●給水元栓が十分開いていない（18ページ） ●湯温調節が適切でない（21、25ページ） ●夏期など水温の高い場合に、低温のお湯を使用しようとするとお湯の温度が設定温度より高くなります。（20ページ）
高温のお湯が出ない	●湯温調節が適切でない（21、25ページ） ●ガス栓が十分開いていない（18ページ） ●冬期など水温が低い場合に、高温のお湯を大量に使用しようとすると設定温度のお湯がでないことがあります。 （給湯栓を絞りお湯の量を少なくすれば、お湯の温度は安定します。） ●混合水栓をご使用の場合は、水が回り込み、お湯がぬるくなる場合があります。サーモスタット付きやシングルレバーの混合水栓の場合混合水栓側の温度設定をもっとも高温にしておいてください。中間の位置で使用すると、水が混ざるため、ぬるくなる場合があります。
給湯温度の設定ができない	●操作しているリモコンが優先になっていない（22ページ）

■『湯はり』『湯量』『おいだき』について

現　象	原　因　と　処　置
お湯はりができない お湯はりに時間がかかる	●給水元栓が十分開いていない。（18ページ） ●停電している。（11ページ） ●電源プラグが抜けている。 ●水抜き栓フィルターにゴミが詰まっている。（47ページ） ●お湯はり中に台所やシャワーなどでお湯を使用すると、お湯はり時間が長くかかる場合があります。 ●お湯はり中に時々お湯はりや燃焼を中断してお湯はりに時間がかかることがありますが、これは浴槽内の残り湯を検出したり、お湯はり途中の水位を検出するためで異常ではありません。しばらくするとお湯はりが開始されますので様子を見てください。 ●リモコンの設定温度を低くしているときや、夏期など水温が高い場合、はじめに設定水位まで水を注水し、おいだきをして設定温度にすることがあります。その場合、お湯はりに時間が長くかかります。 ●冬期など気温が低い場合、お湯はりに時間が長くかかります。
お湯はりの初めに水が出る	●配管内にたまっていたお湯（水）がさめて、お湯はりの初めに出る場合があります。異常ではありません。
おいだきできない おいだき中に消火した	●バスアダプターにゴミが詰まっている。（47ページ） ●バスアダプターよりも残り湯の水位が低くなっている。（28、32ページ） ●断水している。 ●給湯栓から浴槽にお湯をためてからおいだきした場合、おいだきを開始するまでに時間がかかりますが、異常ではありません。（28ページ）

■『湯はり』『湯量』『おいだき』について

現　　象	原　　因　　と　　処　　置
設定した湯量にならない	●バスアダプターにゴミが詰まっている。（47ページ） ●おふろの排水栓をしっかりと閉めていない。 ●残り湯が浴槽のバスアダプターの上端より5cm以上に満たない場合に自動運転を行うと、残り湯を検出できず、残り湯に設定湯量をたすことがあります。この場合、残り湯の分だけ設定湯量より湯量が増えるため、浴槽からお湯があふれることがあります。（32ページ） ●沸かし直しの場合は、設定湯量に対して多少の増減があります。 ●残り湯が設定湯量近くある場合でも、残り湯を検出するためのたし湯を行います。 ●設定温度付近のお湯が残っている状態で「自動運転」を行うと、たし湯しないことや、湯量が多少ばらつくことがあります。 ●お湯はり中に給湯栓から浴槽にお湯を入れたりするとお湯があふれることがあります。 ●ふろ自動運転が完了しないうちにふろ自動運転を何度も「入」「切」すると、お湯があふれることがあります。 →フルオートの機器をご使用で、上記のことを確認しても問題がある場合は、記憶しているふろ湯量があっていない可能性があります。 「機器移設・浴槽買い替え時の再設定」を参照し、湯量を再度記憶させてください。（45ページ）
給湯栓から出るお湯の量が変化する	●お湯を使用中、他の場所でお湯を使用したり、ふろ自動運転をすると、水道の圧力や配管条件によっては、極端にお湯の量が減ったり、いったん止まる場合がありますが、しばらくすると安定します。 ●給湯栓の種類によっては始め多く出て、その後安定するなど、出湯量が変化するものがあります。
お湯はりのあとに水が出る	●機器の設置状態を記憶するための動作で、異常ではありません。 ※オートタイプの機器のみ（45ページ参照）

■『リモコン』について

現　　象	原　　因　　と　　処　　置
スイッチが点灯しない	●停電している。（11ページ） ●電源プラグが抜けている。
スイッチを押すとリモコンの表示画面に「ーー」が表示される	●チャイルドロックが設定されている。（42ページ）
リモコンの画面がいつの間にか消灯している	●省電力モードに設定していると、約10分リモコンの操作をしないと表示画面が消灯します。 再使用したり、いずれかのスイッチを押すと表示画面が点灯します。
スイッチを押しても動作をしない	●省電力モードが働いているとき（表示画面が消灯しているとき）にスイッチを押すと、いったん消灯画面から点灯画面に戻り、もう一度押すとそのスイッチの動作をします。 ●一方のリモコンで設定を変更している間は、もう一方のリモコンでは操作できない場合があります。

故障かな？と思ったら

■その他

現　　象	原　　因　　と　　処　　置
お湯が白く濁って見える	●水中に溶け込んでいた空気が熱せられ、大気圧まで急速に減圧されることによって細かい泡となって出てくる現象です。ビール、サイダーなどの泡と似た現象であり、汚濁とは違い無害です。
水が青く見える 浴槽や洗面台が青く変色した	●湯あかが残っていると、水中に含まれるわずかな銅イオンと石鹸などに含まれる脂肪酸とが反応し、浴槽や洗面台が青く変色することがあります。
水抜き栓（安全弁付き） 49ページの図中 ④ から ときどき水滴が落ちる	●機器内に高い圧力が生じた場合、安全弁の働きによりときどき水滴が落ちることがありますが、水漏れではありません。 （機器下面がぬれて困るときは、ビニールホースなどで支障のない所へ排水してください。なお、ホースは中に水がたまらないように取り付けてください。）
排気口・排気筒トップから白い煙が出る	●外気温が低いときに排気ガス中の水蒸気が白く見えますが、故障ではありません。
給湯停止後もファンが回転している	●再使用時にお湯を早く出すためです。約20秒後に停止します。
ポンプが自動的に動く 機器からウーンと音がする	●冬期などに外気温が下がると自動的にポンプ運転し、凍結を予防します。（48ページ） ●おいだき終了後、お湯を混ぜるためにポンプがしばらく回転することがあります。 ●おふろ予約時、予約時刻の約30分前に残り湯を検知するために機器内のポンプが回転します。
バスアダプターよりボコボコとアワが出る	●配管にたまった空気が出るもので、異常ではありません。
ドレン排出口から水滴が出る	●燃焼中に発生する結露水ですので異常ではありません。
お湯はりなどしていないのにバスアダプターからお湯（水）が出る	●配管洗浄が設定されていると配管内の残り湯（水）を浴槽内に排出します。（43、44ページ）
配管洗浄が作動しない	●設定が解除されている（43、44ページ） ●＜フルオートタイプの場合＞台所などの給湯栓でお湯（水）を使用している ●＜オートタイプの場合＞ふろ自動運転の保温時間が0時間に設定してある

仕　様

◎本仕様は改良のためお知らせせずに変更することもあります。

<table>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">フルオートタイプ</td><td colspan="2">FH-E166FAWL
FH-E166FATL
FH-E166FAUL
FH-E166FABL</td><td>FH-E206FAWL
FH-E206FATL
FH-E206FAUL
FH-E206FABL</td><td>FH-E246FAWL
FH-E246FATL
FH-E246FAUL
FH-E246FABL</td><td>FH-E166FARL</td><td>FH-E206FARL</td><td>FH-E246FARL</td></tr>
<tr><td colspan="2">オートタイプ</td><td colspan="2">FH-E166AWL
FH-E166ATL
FH-E166AUL
FH-E166ABL
FH-E165AWL
FH-E165ATL
FH-E165AUL
FH-E165ABL</td><td>FH-E206AWL
FH-E206ATL
FH-E206AUL
FH-E206ABL
FH-E205AWL
FH-E205AWL(T)
FH-E205ATL
FH-E205ATL(T)
FH-E205AUL
FH-E205AUL(T)
FH-E205ABL
FH-E205ABL(T)</td><td>FH-E246AWL
FH-E246ATL
FH-E246AUL
FH-E246ABL
FH-E245AWL
FH-E245AWL(T)
FH-E245ATL
FH-E245ATL(T)
FH-E245AUL
FH-E245AUL(T)
FH-E245ABL
FH-E245ABL(T)</td><td>FH-E166ARL
FH-E165ARL</td><td>FH-E206ARL
FH-E205ARL</td><td>FH-E246ARL
FH-E245ARL</td></tr>
<tr><td rowspan="2">種類</td><td colspan="2">設置方式</td><td colspan="7">屋外設置型</td></tr>
<tr><td colspan="2">給湯方式</td><td colspan="7">先止め式</td></tr>
<tr><td colspan="3">点火方式</td><td colspan="7">連続スパーク点火</td></tr>
<tr><td rowspan="4">電気関係</td><td colspan="2">電源</td><td colspan="7">AC100V(50Hz/60Hz)</td></tr>
<tr><td rowspan="3">消費電力
(50Hz/60Hz)</td><td>同時使用</td><td colspan="7">別表参照</td></tr>
<tr><td>待機時</td><td colspan="7">1.3W</td></tr>
<tr><td>凍結予防
ヒーター</td><td colspan="4">124W</td><td colspan="3">188W</td></tr>
<tr><td rowspan="2">水圧</td><td colspan="2">使用水圧</td><td colspan="7">80kPa～1000kPa（推奨水圧100kPa～500kPa）</td></tr>
<tr><td colspan="2">最低作動水圧</td><td colspan="7">10kPa</td></tr>
<tr><td colspan="3">最低作動水量</td><td colspan="7">2.5L／分</td></tr>
<tr><td colspan="3">外形寸法mm(高さ×幅×奥行)</td><td colspan="4">600×470×240</td><td colspan="3">640×534×240</td></tr>
<tr><td colspan="3">質量（本体）</td><td colspan="4">30kg（満水時の質量33kg）</td><td colspan="3">32kg（満水時の質量35kg）</td></tr>
<tr><td rowspan="5">接続</td><td colspan="2">給水・給湯</td><td colspan="2">R1/2(15A)<標準仕様>
または
R3/4(20A)<受注対応></td><td>R3/4(20A)</td><td colspan="2">R1/2(15A)<標準仕様>
または
R3/4(20A)<受注対応></td><td>R3/4(20A)</td></tr>
<tr><td colspan="2">都市ガス</td><td>R3/4(20A)
<標準仕様>
または
R1/2(15A)
<受注対応></td><td colspan="3">R3/4(20A)</td><td>R3/4(20A)
<標準仕様>
または
R1/2(15A)
<受注対応></td><td colspan="2">R3/4(20A)</td></tr>
<tr><td colspan="2">LPガス</td><td colspan="7">R1/2(15A)</td></tr>
<tr><td colspan="2">おいだき（往き戻り）</td><td colspan="7">R1/2(15A)</td></tr>
<tr><td colspan="2">排水</td><td colspan="7">R1/2(15A)</td></tr>
<tr><td colspan="3">電源コードの長さ</td><td colspan="7">1.8m</td></tr>
<tr><td colspan="3">安心・安全機能</td><td colspan="7">立消え安全装置・過熱防止装置・空だき安全装置・残火安全装置・過圧防止安全装置
空だき防止装置・漏電安全装置・凍結予防装置・沸騰防止装置・電流ヒューズ
中和器詰まり検出装置・ファン回転検出装置・停電安全装置</td></tr>
</table>

＊最低作動水量は、入水温や設定温度により増加する場合があります。

仕　様

■16号　フルオートタイプ

使用ガスグループ		器具名	型式名	ガス消費量　kW			出湯量（最大）L/分			消費電力(50Hz/60Hz)
				給湯	ふろ	同時使用	25℃上昇	40℃上昇	55℃上昇	
都市ガス用	12A	FH-E166FAWL	T-27-1	27.4	10.8	37.1	14.9	9.3	6.8	105W/105W
		FH-E166FATL	T-27-2							125W/125W
		FH-E166FAUL	T-27-3							135W/135W
		FH-E166FABL	T-27-4							125W/125W
		FH-E166FARL	T-27-5							105W/105W
	13A	FH-E166FAWL	T-27-1	29.4	11.6	39.8	16.0	10.0	7.3	105W/105W
		FH-E166FATL	T-27-2							125W/125W
		FH-E166FAUL	T-27-3							135W/135W
		FH-E166FABL	T-27-4							125W/125W
		FH-E166FARL	T-27-5							105W/105W
LPガス用		FH-E166FAWL	T-27-1	29.4	11.6	39.8	16.0	10.0	7.3	105W/105W
		FH-E166FATL	T-27-2							125W/125W
		FH-E166FAUL	T-27-3							135W/135W
		FH-E166FABL	T-27-4							125W/125W
		FH-E166FARL	T-27-5							105W/105W

■16号　オートタイプ

使用ガスグループ		器具名	型式名	ガス消費量　kW			出湯量（最大）L/分			消費電力(50Hz/60Hz)
				給湯	ふろ	同時使用	25℃上昇	40℃上昇	55℃上昇	
都市ガス用	12A	FH-E166AWL	T-27-1	27.4	10.8	37.1	14.9	9.3	6.8	105W/105W
		FH-E166ATL	T-27-2							125W/125W
		FH-E166AUL	T-27-3							135W/135W
		FH-E166ABL	T-27-4							125W/125W
		FH-E166ARL	T-27-5							105W/105W
	13A	FH-E166AWL	T-27-1	29.4	11.6	39.8	16.0	10.0	7.3	105W/105W
		FH-E166ATL	T-27-2							125W/125W
		FH-E166AUL	T-27-3							135W/135W
		FH-E166ABL	T-27-4							125W/125W
		FH-E166ARL	T-27-5							105W/105W
LPガス用		FH-E166AWL	T-27-1	29.4	11.6	39.8	16.0	10.0	7.3	105W/105W
		FH-E166ATL	T-27-2							125W/125W
		FH-E166AUL	T-27-3							135W/135W
		FH-E166ABL	T-27-4							125W/125W
		FH-E166ARL	T-27-5							105W/105W

■16号　オートタイプ

使用ガスグループ		器具名	型式名	ガス消費量　kW			出湯量（最大）L/分			消費電力(50Hz/60Hz)
				給湯	ふろ	同時使用	25℃上昇	40℃上昇	55℃上昇	
都市ガス用	12A	FH-E165AWL	T-30-1	27.4	10.8	37.1	14.9	9.3	6.8	105W/105W
		FH-E165ATL	T-30-2							125W/125W
		FH-E165AUL	T-30-3							135W/135W
		FH-E165ABL	T-30-4							125W/125W
		FH-E165ARL	T-30-5							105W/105W
	13A	FH-E165AWL	T-30-1	29.4	11.6	39.8	16.0	10.0	7.3	105W/105W
		FH-E165ATL	T-30-2							125W/125W
		FH-E165AUL	T-30-3							135W/135W
		FH-E165ABL	T-30-4							125W/125W
		FH-E165ARL	T-30-5							105W/105W
LPガス用		FH-E165AWL	T-30-1	29.4	11.6	39.8	16.0	10.0	7.3	105W/105W
		FH-E165ATL	T-30-2							125W/125W
		FH-E165AUL	T-30-3							135W/135W
		FH-E165ABL	T-30-4							125W/125W
		FH-E165ARL	T-30-5							105W/105W

■20号　フルオートタイプ

使用ガスグループ		器具名	型式名	ガス消費量　kW			出湯量（最大）L/分			消費電力(50Hz/60Hz)
				給湯	ふろ	同時使用	25℃上昇	40℃上昇	55℃上昇	
都市ガス用	12A	FH-E206FAWL	T-26-1	34.2	10.8	43.4	18.6	11.6	8.5	107W/107W
		FH-E206FATL	T-26-2							120W/120W
		FH-E206FAUL	T-26-3							130W/130W
		FH-E206FABL	T-26-4							125W/125W
		FH-E206FARL	T-26-5							107W/107W
	13A	FH-E206FAWL	T-26-1	36.7	11.6	46.6	20.0	12.5	9.1	107W/107W
		FH-E206FATL	T-26-2							120W/120W
		FH-E206FAUL	T-26-3							130W/130W
		FH-E206FABL	T-26-4							125W/125W
		FH-E206FARL	T-26-5							107W/107W
LPガス用		FH-E206FAWL	T-26-1	36.7	11.6	46.6	20.0	12.5	9.1	107W/107W
		FH-E206FATL	T-26-2							125W/125W
		FH-E206FAUL	T-26-3							130W/130W
		FH-E206FABL	T-26-4							120W/120W
		FH-E206FARL	T-26-5							107W/107W

■20号　オートタイプ

使用ガスグループ		器具名	型式名	ガス消費量　kW			出湯量（最大）L/分			消費電力(50Hz/60Hz)
				給湯	ふろ	同時使用	25℃上昇	40℃上昇	55℃上昇	
都市ガス用	12A	FH-E206AWL	T-26-1	34.2	10.8	43.4	18.6	11.6	8.5	107W/107W
		FH-E206ATL	T-26-2							120W/120W
		FH-E206AUL	T-26-3							130W/130W
		FH-E206ABL	T-26-4							125W/125W
		FH-E206ARL	T-26-5							107W/107W
	13A	FH-E206AWL	T-26-1	36.7	11.6	46.6	20.0	12.5	9.1	107W/107W
		FH-E206ATL	T-26-2							120W/120W
		FH-E206AUL	T-26-3							130W/130W
		FH-E206ABL	T-26-4							125W/125W
		FH-E206ARL	T-26-5							107W/107W
LPガス用		FH-E206AWL	T-26-1	36.7	11.6	46.6	20.0	12.5	9.1	107W/107W
		FH-E206ATL	T-26-2							125W/125W
		FH-E206AUL	T-26-3							130W/130W
		FH-E206ABL	T-26-4							120W/120W
		FH-E206ARL	T-26-5							107W/107W

仕　様

■20号　オートタイプ

使用ガスグループ		器具名	型式名	ガス消費量　kW			出湯量（最大）L/分			消費電力(50Hz/60Hz)
				給湯	ふろ	同時使用	25℃上昇	40℃上昇	55℃上昇	
都市ガス用	12A	FH-E205AWL	T-29-1	34.2	10.8	43.4	18.6	11.6	8.5	107W/107W
		FH-E205AWL(T)								
		FH-E205ATL	T-29-2							120W/120W
		FH-E205ATL(T)								
		FH-E205AUL	T-29-3							130W/130W
		FH-E205AUL(T)								
		FH-E205ABL	T-29-4							125W/125W
		FH-E205ABL(T)								
		FH-E205ARL	T-29-5							107W/107W
	13A	FH-E205AWL	T-29-1	36.7	11.6	46.6	20.0	12.5	9.1	107W/107W
		FH-E205AWL(T)								
		FH-E205ATL	T-29-2							120W/120W
		FH-E205ATL(T)								
		FH-E205AUL	T-29-3							130W/130W
		FH-E205AUL(T)								
		FH-E205ABL	T-29-4							125W/125W
		FH-E205ABL(T)								
		FH-E205ARL	T-29-5							107W/107W
LPガス用		FH-E205AWL	T-29-1	36.7	11.6	46.6	20.0	12.5	9.1	107W/107W
		FH-E205ATL	T-29-2							125W/125W
		FH-E205AUL	T-29-3							130W/130W
		FH-E205ABL	T-29-4							120W/120W
		FH-E205ARL	T-29-5							107W/107W

■24号　フルオートタイプ

使用ガスグループ		器具名	型式名	ガス消費量　kW			出湯量（最大）L/分			消費電力(50Hz/60Hz)
				給湯	ふろ	同時使用	25℃上昇	40℃上昇	55℃上昇	
都市ガス用	12A	FH-E246FAWL	T-25-1	41.2	10.8	49.9	22.4	14.0	10.2	115W/115W
		FH-E246FATL	T-25-2							135W/135W
		FH-E246FAUL	T-25-3							140W/140W
		FH-E246FABL	T-25-4							135W/135W
		FH-E246FARL	T-25-5							115W/115W
	13A	FH-E246FAWL	T-25-1	44.2	11.6	53.5	24.0	15.0	10.9	115W/115W
		FH-E246FATL	T-25-2							135W/135W
		FH-E246FAUL	T-25-3							140W/140W
		FH-E246FABL	T-25-4							135W/135W
		FH-E246FARL	T-25-5							115W/115W
LPガス用		FH-E246FAWL	T-25-1	44.2	11.6	53.5	24.0	15.0	10.9	115W/115W
		FH-E246FATL	T-25-2							135W/135W
		FH-E246FAUL	T-25-3							140W/140W
		FH-E246FABL	T-25-4							135W/135W
		FH-E246FARL	T-25-5							115W/115W

■24号　オートタイプ

使用ガスグループ		器具名	型式名	ガス消費量　kW			出湯量（最大）L/分			消費電力(50Hz/60Hz)
				給湯	ふろ	同時使用	25℃上昇	40℃上昇	55℃上昇	
都市ガス用	12A	FH-E246AWL	T-25-1	41.2	10.8	49.9	22.4	14.0	10.2	115W/115W
		FH-E246ATL	T-25-2							135W/135W
		FH-E246AUL	T-25-3							140W/140W
		FH-E246ABL	T-25-4							135W/135W
		FH-E246ARL	T-25-5							115W/115W
	13A	FH-E246AWL	T-25-1	44.2	11.6	53.5	24.0	15.0	10.9	115W/115W
		FH-E246ATL	T-25-2							135W/135W
		FH-E246AUL	T-25-3							140W/140W
		FH-E246ABL	T-25-4							135W/135W
		FH-E246ARL	T-25-5							115W/115W
LPガス用		FH-E246AWL	T-25-1	44.2	11.6	53.5	24.0	15.0	10.9	115W/115W
		FH-E246ATL	T-25-2							135W/135W
		FH-E246AUL	T-25-3							140W/140W
		FH-E246ABL	T-25-4							135W/135W
		FH-E246ARL	T-25-5							115W/115W

■24号　オートタイプ

使用ガスグループ		器具名	型式名	ガス消費量　kW			出湯量（最大）L/分			消費電力(50Hz/60Hz)
				給湯	ふろ	同時使用	25℃上昇	40℃上昇	55℃上昇	
都市ガス用	12A	FH-E245AWL	T-28-1	41.2	10.8	49.9	22.4	14.0	10.2	115W/115W
		FH-E245AWL(T)								
		FH-E245ATL	T-28-2							135W/135W
		FH-E245ATL(T)								
		FH-E245AUL	T-28-3							140W/140W
		FH-E245AUL(T)								
		FH-E245ABL	T-28-4							135W/135W
		FH-E245ABL(T)								
		FH-E245ARL	T-28-5							115W/115W
	13A	FH-E245AWL	T-28-1	44.2	11.6	53.5	24.0	15.0	10.9	115W/115W
		FH-E245AWL(T)								
		FH-E245ATL	T-28-2							135W/135W
		FH-E245ATL(T)								
		FH-E245AUL	T-28-3							140W/140W
		FH-E245AUL(T)								
		FH-E245ABL	T-28-4							135W/135W
		FH-E245ABL(T)								
		FH-E245ARL	T-28-5							115W/115W
LPガス用		FH-E245AWL	T-28-1	44.2	11.6	53.5	24.0	15.0	10.9	115W/115W
		FH-E245ATL	T-28-2							135W/135W
		FH-E245AUL	T-28-3							140W/140W
		FH-E245ABL	T-28-4							135W/135W
		FH-E245ARL	T-28-5							115W/115W

保管とアフターサービス

保管（長期間使用しないとき）

水を抜きます。(「凍結を防ぐには」49ページ参照)

アフターサービスについて

■点検・修理を依頼されるとき

「故障かな?と思ったら」を見てもう一度確認していただき、それでも直らないときは、お買い上げの販売店かパロマサービスコールセンターまでご連絡ください。パロマサービスコールセンターは24時間受付いたしますので、ご利用ください。

なお、アフターサービスをお申しつけのときは右記の内容をお知らせください。

① 品名・器具名(銘板表示のもの)
② 現象(できるだけ詳しく)
③ ご購入日・ガス種
④ ご住所・お名前・電話番号・道順
⑤ ご訪問希望日

※作業に危険を伴う（ハシゴかけ、ヤグラ組立などを必要とする）場所に取り付けられた場合、アフターサービスをお断りする場合がありますのでご了承ください。

修理についてのお問い合わせは	パロマサービスコールセンター **0120-193-860**	受付時間：24時間修理受付

商品について不明な点はパロマお客様相談室までご連絡ください。

商品についてのお問い合わせは	パロマお客様相談室 **052-824-5145** 〒467-8585　名古屋市瑞穂区桃園町6番23号	受付時間：平日　8：30～18：00 （土・日・祝日・弊社指定定休日を除く）

お近くの下記サービスセンターでのお問い合わせも受付しております。

【各地区のサービスセンター】受付時間：平日　9：00～18：30（土・日・祝日・弊社指定定休日を除く）

ご相談窓口	住所	TEL	FAX
北海道サービスセンター	〒001-0033 札幌市北区北３３条西７丁目１－１	011-726-2822	011-736-7374
東　北サービスセンター	〒983-0041 仙台市宮城野区南目館２０－１０	022-239-1848	022-238-0838
首都圏サービスセンター	〒114-0015 東京都北区中里3－１１－9太平中里ビル2階	03-6858-8600	03-6858-8601
中日本サービスセンター	〒467-8585 名古屋市瑞穂区桃園町６－２３	052-824-5050	052-824-5385
近　畿サービスセンター	〒550-0013 大阪市西区新町3-13-20パロマアワザビル2階	06-6534-6751	06-6534-6755
中四国サービスセンター	〒732-0804 広島市南区西蟹屋３丁目８－１２	082-262-8341	082-263-2400
九　州サービスセンター	〒812-0016 福岡市博多区博多駅南２-９-１３	092-472-0924	092-471-8400

＊住所・電話番号などは変更することがありますのであらかじめご了承願います。

■補修用性能部品の保有期間について

補修用性能部品は本製品製造打ち切り後10年間保有しております。

■BL認定部品について

優良住宅部品（BL認定部品）は、住宅に設置する場所（適用範囲）を設定して認定基準などが規定されています。そのため、BL認定部品を適用範囲外で使用される場合には、優良な部品としての性能が発揮できないことがあるとともに、優良住宅部品認定制度に基づく優良住宅部品（BL認定部品）の適用が受けられなくなります。

■ガスの種類が変わるとき

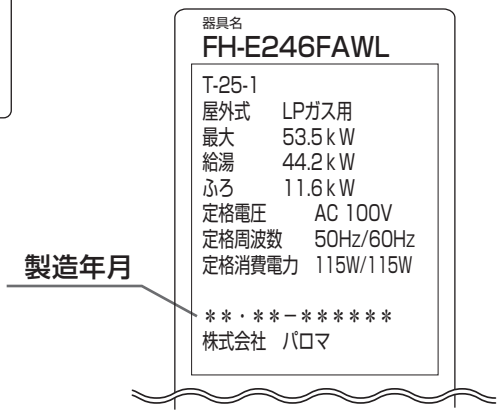
ご贈答、転居などによりガスの種類が変わるときは、ガス機器の調整が必要となりますので、お買い上げの販売店かパロマまでご連絡ください。この場合、費用は保証期間中でも有料となります。

■製造年月について

製造年月は機器の正面に貼ってある銘板でお確かめください。

［例］ 15・03 － 123456
製造年月（2015年3月）　製造番号

銘板（例）LPガス用



■お客さまの個人情報の取り扱いについて

●当社はお客さまよりお知らせいただいた、お客さまのお名前・ご住所・電話番号などの個人情報をサービス活動および、安全点検活動のために利用させていただく場合がありますのでご了承ください。
●当社はお客さまの個人情報を、下記の場合を除いて第三者へ開示・提供いたしません。
・修理やその確認業務を当社の協力会社に委託する場合
・法令に基づく業務の履行または権限の行使のために必要な場合
・その他の正当な理由がある場合
●当社はお客さまの個人情報を適切に管理します。

本保証書は下記機器に適用されます

■フルオートタイプ

FH-E166FAWL	FH-E166FATL	FH-E166FAUL	FH-E166FABL	FH-E166FARL
FH-E206FAWL	FH-E206FATL	FH-E206FAUL	FH-E206FABL	FH-E206FARL
FH-E246FAWL	FH-E246FATL	FH-E246FAUL	FH-E246FABL	FH-E246FARL

■オートタイプ

FH-E166AWL	FH-E166ATL	FH-E166AUL	FH-E166ABL	FH-E166ARL
FH-E206AWL	FH-E206ATL	FH-E206AUL	FH-E206ABL	FH-E206ARL
FH-E246AWL	FH-E246ATL	FH-E246AUL	FH-E246ABL	FH-E246ARL
FH-E165AWL	FH-E165ATL	FH-E165AUL	FH-E165ABL	FH-E165ARL
FH-E205AWL	FH-E205ATL	FH-E205AUL	FH-E205ABL	FH-E205ARL
FH-E245AWL	FH-E245ATL	FH-E245AUL	FH-E245ABL	FH-E245ARL
FH-E205AWL(T)	FH-E205ATL(T)	FH-E205AUL(T)	FH-E205ABL(T)	
FH-E245AWL(T)	FH-E245ATL(T)	FH-E245AUL(T)	FH-E245ABL(T)	

保 証 書

パロマ　ガスふろ給湯器

このたびは当社製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。この保証書はお客様の正常な設置･使用状態において万一機器本体が故障した場合には、本書の記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。
本保証書の適用器具名は裏面（62ページ）に記載してあります。

≪無料修理規定≫

1. 取扱説明書、本体貼付けラベル等の注意書きに従った正常な設置･使用状態で故障した場合には、お買い上げの販売店か パロマが無料修理致します。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、お買い上げの販売店かパロマにご依頼のうえ、本書をご提示ください。
   なお、離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には出張に要する実費を申し受けます。
3. ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
4. ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、パロマへご相談ください。
5. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。

（イ）取扱説明書によらないでご使用になったり使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
（ロ）お買い上げ後の取付場所の移動（取付工事依頼の必要な機器の場合）、落下等による故障および損傷
（ハ）公害、火災、水害、地震、落雷、凍結等の天災地変、ねずみ、鳥、くも、昆虫類の侵入、異常電圧（電気部品搭載の機器の場合）、供給事情（燃料・給水等）などによる故障および損傷
（ニ）一般家庭用以外（例えば、業務用使用、車輌、船舶への搭載等）に使用された場合の故障および損傷
（ホ） 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入捺印のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
（ヘ）消耗部品の取替えおよび保守等の費用
（ト）本書の提示がない場合
（チ）建築躯体の変形など機器本体以外の不具合に起因する当該機器の不具合、塗装の色あせ等の経年変化または使用に伴う摩擦等により生じる外観上の現象
（リ）海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境に起因する場合
（ヌ）給水・給湯配管の錆び等異物流入に起因する不具合
（ル）温泉水、井戸水、地下水などを給水したことに起因する不具合

6. 本書は日本国内においてのみ有効です。
   (This warranty is valid only in Japan.)
7. 本書は再発行致しませんので、紛失しないように大切に保管してください。

お客様	お名前　　様	
	ご住所　〒	
	お電話	
販売店	店名	
	住所	
	電話番号	

お買い上げ日	年　　月　　日	
BL認定部品の保証期間	本体	お買い上げ日から2年間
	熱交換器	お買い上げ日から3年間

株式会社パロマ
〒467-8585　名古屋市瑞穂区桃園町6番23号
TEL 052 (824) 5145

修 理 記 録

年　月　日	修 理 内 容	サービス員 ㊞

＊この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。なお、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店かパロマにお問い合わせください。
＊保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくはアフターサービス欄をご覧ください。

30135180004

27. 4. H ④ 30 13518